

シラバス

科目名	基礎ゼミ		担当者名	金田一 栄子	
学科	エアラインサービス科		授業方法	ゼミ	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	72時間
授業目的	観光業界の現状を理解し、これからの観光業界のあり方を考える。 また、グループワークを通じて、ゴールに向けて仲間と協働することで、主体性やコミュニケーション力、協働力を養うとともに、自身の卒業ビジョンのステージを想像する力を養う。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	地域の現状を理解し、その中で課題を考え、その解決策をグループで力を合わせて考え提案する。				
授業概要	千葉県成田市の成田山新勝寺を取り上げる。フィールドワークや資料からその観光地の現状を把握し、課題を設定しその活性化プランを考案する。その過程でフィールドワークの手法、データの取得と利用法を学ぶ。また他の地域の活性化例にも学ぶ。				
授業計画表	授業内容		授業内容		
	1	オリエンテーション、チームビルディング	19	課題の確認と参道活性化プラン考案	
	2	フィールドワーク計画作成	20	プランの具体化	
	3	フィールドワーク①(終日)	21	プランの具体化	
	4	フィールドワークまとめ	22	プラン検討	
	5	観光概論旅行動向(データの見方)	23	検証フィールドワークに向けての現地での調査事項立案	
	6	観光概論インバウンド	24	フィールドワーク③	
	7	観光概論オーバーツーリズム	25	問題点の整理とプランの見直し	
	8	地域活性化とは	26	中環発表準備	
	9	地域活性化事例研究	27	中間発表	
	10	地域活性化事例研究	28	修正	
	11	地域活性化事例研究	29	最終発表準備	
	12	成田研究(新勝寺参道の観光実態の分析)	30	最終発表準備	
	13	成田研究(成田広域にも視点を向ける)	31	最終発表準備	
	14	成田研究(フィールドワーク②に向けて調査事項の決定)	32	最終発表準備	
	15	フィールドワーク②	33	リハーサル	
	16	フィールドワークのまとめと問題点の整理	34	修正	
	17	課題の抽出	35	最終発表	
18	中間発表	36	振り返り、まとめ		
成績割合	テスト	%	学習FB方法	前期、後期成績表配布 出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	50%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50 R<<実働実践型学習>>50 A<<主体的参加型学習>>50 G<<海外体感型学習>>20				
講師プロフィール	旅行会社でカウンター、営業、添乗、業務渡航など多岐に渡る業務を経験後、旅行分野、観光英語等で長い指導歴を持ちます。2002年から観光英検問題作成委員。				

シラバス

科目名	ホスピタリティサービス		担当者名	池亀 満枝		
学 科	エアラインサービス科		授業方法	講義		
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間	
授業目的	学生が社会に出る前に、社会が求めるコミュニケーションとは何かを理解させるとともに、社会で必要とされるマナーの基本知識を習得し、他者と相互に円滑な交流ができるように自然に適応できるようになることを目指す。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	良い人間観を築くためのコミュニケーションのポイントに加え、社会人に必要なマナーの知識を確認し、それらの学習成果を評価・認定する資格検定の認定証を取得する。					
授業概要	受け継がれてきたしきたり、マナーの基礎知識を習得するとともに、コミュニケーションのスキルを身に付けることで、相手や状況に応じた適切な対応が自然にできるようにする。					
授業計画表	授業内容			授業内容		
	1	ガイダンス	19	断りの丁寧な伝え方		
	2	コミュニケーション、マナーとは？ホスピタリティとは？	20	お詫びの丁寧な伝え方		
	3	自分を知る	21	違和感を与える表現・信頼感を損ねる口癖		
	4	表情と笑顔	22	食事の席での心得		
	5	姿勢	23	公共の場での振る舞い		
	6	服装と身だしなみ	24	訪問先でのマナー		
	7	態度や振る舞い	25	あらたまった席での振る舞い		
	8	傾聴のポイント	26	冠婚葬祭とは、冠婚葬祭の意味と行事		
	9	話し方	27	慶事のマナー		
	10	敬語の基本、種類	28	慶事のマナー		
	11	丁寧語・美化語・改まり語	29	祝儀・不祝儀袋		
	12	尊敬語	30	人生や季節のイベント		
	13	謙譲語 I	31	席次のルール		
	14	謙譲語 II	32	国際交流とプロトコール		
	15	試験	33	ビジネスマナーの基本		
	16	使い分け・誤用	34	試験		
	17	上手な気持ちの伝え方	35	試験解説		
18	依頼の丁寧な伝え方	36	まとめ			
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	課題		
	学習態度・出席率	30%				
	レポート	%	成績評価	S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>80 R<<実働実践型学習>>10 A<<主体的参加型学習>>10 G<<海外体感型学習>>0					
講師プロフィール	官公庁、政府関係機関等にて役職者の秘書を長年務めた経験から現在に至る。					

シラバス

科目名	GS実習 I		担当者名	林 美加	
学 科	エアラインサービス科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	72時間
授業目的	人としての人間性を高め、GSの業務知識を身につけることで、即戦力となる人材を育成する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1. 自己理解を深め、人間性を高める考え方・捉え方のマインドセット をする事で内面を整え、人としての価値を高める。 2. 航空業界とGSの知識を深めることで、本当に進みたい進路に導く。 3. 即戦力が強みとなる知識を身につけ、企業から欲しいと思われる 人材を育てていく。				
授業概要	GSを取り巻く航空業界の仕事について理解を深める 出発業務 到着業務 クレーム対応 顧客満足				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	オリエンテーション	19	GS業務基礎1到着業務1 手荷物事故2	
	2	目標設定	20	GS業務基礎1到着業務1 手荷物事故3	
	3	自己理解を深める	21	自己理解と面接対策	
	4	GS業務基礎1航空会社の仕事	22	エントリーシート・面接対策身だしなみ	
	5	GS業務基礎1航空業務基礎	23	エントリーシート・面接対策実習4 仮面接	
	6	GS業務基礎1出発業務1 出発業務の流れとJOB	24	エントリーシート・面接対策実習5 仮面接	
	7	GS業務基礎1出発業務1 GSのキャリアUPとJOB	25	顧客満足JCSIと顧客満足につながる対応力	
	8	GS業務基礎1出発業務1 CKIN業務	26	顧客満足実習6 プレミアムクラスのオファー	
	9	GS業務基礎1出発業務1 CKIN業務	27	クレーム対応1クレーム旅客の心理と対応力	
	10	GS業務基礎1出発業務1 実習1 CKINの流れロールプレイ	28	クレーム対応1クレーム対応力	
	11	GS業務基礎1出発業務2 GATE業務	29	ロールプレイ実習7 カウンター業務・クレーム対応	
	12	GS業務基礎 1 出発業務 実習2 ANN練習	30	後期まとめ振り返り	
	13	GS業務基礎1前期まとめ	31	後期テスト	
	14	前期テスト	32	1年間のまとめ振り返り	
	15	GS業務基礎1TKTについて	33		
	16	GS業務基礎1実習3 W/B体験	34		
	17	GS業務基礎1到着業務1 到着業務の流れ	35		
18	GS業務基礎1到着業務1 手荷物事故1	36			
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	レポート・個別口頭F/B 小テスト	
	学習態度・出席率	10%			
	レポート	30%	成績評価	定期試験60% 出席率10% 取り組み姿勢30%	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>80% R<実働実践型学習>80% A<主体的参加型学習>80% G<海外体感型学習>70%				
講師プロフィール	林美加 千葉県出身 JALスカイで約30年、空港の現場でグランドスタッフとして、そして管理職として、CS向上・マネジメント・人材育成・採用面接官として従事。 大切にしていることは『個の価値や可能性・才能・存在感』といった『個人の力』と、そして、何より、人それぞれが持つ『想い』です。人の想いが動く時、人生も組織も大きく動きます。人を信じ、人を育て、心でつながるコミュニケーションを心がけています。 羽田空港国際線の立ち上げ 中国虹桥空港支店の新規拠点設立 顧客満足ランキング 43位から1年半で3位に改善				

シラバス

科目名	アマデウス実習 I		担当者名	毛利 奈緒	
学 科	エアラインサービス科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	72時間
授業目的	世界中の多くの旅行会社、航空会社で利用されている総合予約システム「アマデウス」操作の習得。航空、旅行業界で実際に活用できる「技能」の習得と共に国際線予約業務に必要な「基礎知識」を身につける。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	国際線予約の操作、基礎知識を学び「アマデウス システム検定 (AMADEUS RESERVATION FUNDAMENTALS)」合格を目指す。				
授業概要	「アマデウス」トレーニングモードを使つての実習が中心。テキスト、早見表を使つて基本操作の学習後、練習問題によって各自が操作技能、知識を積み上げていく。就職活動を見据え、ニュースなどを取り上げて航空、旅行業界を取り巻く環境に目を向け、実社会とのつながりを意識させる。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	導入 授業の目的・目標 基本操作 基礎知識	19	フライトの変更・キャンセル PNR項目の修正	
	2	各種コード検索①	20	旅客氏名(小児・幼児)入力	
	3	各種コード検索② 主要航空会社	21	旅客氏名(小児・幼児)修正 SSRとは	
	4	タイムテーブル コードシェア アライアンス	22	SSR 各種ミール HELPページ	
	5	空席照会(オプション・ショートカット)	23	SSR 連絡先 CTCE CTCM	
	6	直接予約(ロングセル) ステータスコードとは フライトのキャンセル	24	SSR フリーイベントフライヤープログラム	
	7	PNRとは 旅客氏名(大人) 入力・修正	25	SSR シートリクエスト GGエントリー	
	8	連絡先 発券状況 送信元 完了	26	フライトインフォメーション(直行・経由便) MCT	
	9	完了 中断 完了後のステータスコード PNRの取出し	27	ヒストリー アンシラリーサービス(PNRからのサービスカタログ表示)	
	10	PNR作成練習	28	REMARKS サービスハブの利用	
	11	PNR作成練習	29	検定試験対策①	
	12	エラーメッセージ ステータスコードの流れ NHPの表示	30	検定試験対策②	
	13	ARNK オープンセグメント	31	検定試験対策③	
	14	乗継便の予約・変更 マリッドセグメント	32	検定試験実施	
	15	前期末試験に向けて復習	33	基礎知識総復習 PNR作成	
	16	前期末試験	34	後期末試験	
	17	試験返却 解説	35	後期末試験返却	
18	乗継便の予約・変更	36			
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	前期・後期試験実施後。試験返却をもって 成績評価	
	学習態度・出席率	40%			
	レポート	10%			
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>0 A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	(株)日本航空にて予約、発券業務 (株)アクセス国際ネットワークにて学校教育担当講師				

シラバス

科目名	接遇手話 I		担当者名	小川 奈緒子	
学 科	エアラインサービス科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間
授業目的	①聴覚障がいについて理解する。 ②手話の基本について学ぶ。 ③社会の中のマイノリティの理解を深める				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	・聴覚障がいの基礎知識を学び、理解する。 ・簡単な自己紹介・日常会話の習得をする。 ・NPO法人手話技能検定試験4級の合格を目指す。				
授業概要	・聴覚障がいの基礎知識・コミュニケーション手段などの座学。 ・簡単な自己紹介・日常会話の実技。 ・聴覚障がいゲスト講師との交流。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	ガイドダンス導入(1年間の進め方・手話とは)学校の名前の手話表現	19	疑問詞 (だれ・なぜ・どちら・いくつ)	
	2	伝える工夫(コミュニケーション方法・挨拶の手話) 筆談・手話・身振り	20	疑問詞 (疑問詞を使った文章表現)	
	3	手話の基本(指文字・挨拶・出来る/出来ない) 自分の名前を手話、指文字で表現	21	時制(1日・1週間の生活)/都道府県名	
	4	手話の基本(指文字・名前・学校名・好き/嫌い)	22	時制(四季・1年の生活)/都道府県名	
	5	手話の基本(数字の表現・疑問詞の使い方)	23	理論(聴覚障がい者と福祉制度 接遇手話を使った簡単な文の表現))	
	6	自己紹介(住所・出身地・県名・国名を含む)	24	ゲスト授業事前学習(ろう文化等)	
	7	自己紹介(人物・家族の表現)	25	ゲスト講師を招いて(聴覚障がい者の話を聞く)・手話での交流	
	8	自己紹介(誕生日・数字・時の表現)	26	聴覚障がいの特性を理解する・先週の感想等の共有	
	9	自己紹介(趣味の表現)	27	後期授業の復習	
	10	学んだ手話で自己紹介をしよう!(小テスト)	28	後期授業の復習/手話ソング(Xmasソング)	
	11	自己紹介(職業などの表現)	29	時節の手話	
	12	自己紹介のまとめ	30	時節の手話	
	13	理論・・・聴覚障がい者について(日常生活・法律その他) レポート提出	31	1年間の総復習	
	14	前期の復習(自己紹介の復習)	32	1年間の総復習33	
	15	前期の復習(指文字・挨拶など単語の復習)読み取り小テスト	33	1年間の総復習	
	16	前期末試験(表出試験)	34	学年末試験(表出試験)	
	17	前期末試験(読み取り試験/筆記試験)	35	学年末試験(読み取り/筆記試験)	
18	試験の返却/解説(前期の振り返り)	36	試験の返却/開設		
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	使用教材 豊かなコミュニケーション(NPO法人東京都中途失聴難聴者協会 発行) S90～100点 A80～89点 B70～79 c60～69 D59以下は不合格	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	10%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>10% R<<実働実践型学習>>40% A<<主体的参加型学習>>40% G<<海外体験型学習>>10%				
講師プロフィール	手話通訳者として講演会・会議・その他日常生活での手話通訳活動や手話講習会等で手話指導経験を積んでいる。				

シラバス

科目名	PC実習 I		担当者名	千葉 輝子			
学 科	エアラインサービス科		授業方法	実習			
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	72時間		
授業目的	PC及びWordの基本操作、タイピング力を身に付ける。トラブルに巻き込まれない、トラブルを起こさない人材の育成						
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	ビジネス文書を効率良く作成できるようになることを目標とし、日商PC検定 文書作成3級に合格相当のスキルを身に付ける。"情報リテラシー 情報を正しく使うための能力 ネットワークリテラシー ネットワークやセキュリティに関する知識 コンピューターリテラシー パソコンやスマホなどのツールを使いこなす能力 を身に付ける"						
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・毎授業、タイピング練習の実施(各自目標を設定する) ・ビジネス文書及びビジネスメールの書き方(ルールの理解)→レポートを提出 ・検定試験の問題を課題に取り入れることにより、既存の文書の編集力も身に付ける ・定期試験に、実技だけでなく知識(ビジネス用語、PC用語)も取り入れ、一般常識及びITリテラシーも身に付ける 						
授業計画表		授業内容		授業内容			
	1	ガイダンス	19	図の挿入/図形の描画			
	2	科目ガイダンス各自のPC環境整備	20	ビジネス文書課題(表と図のあるビジネス文書)			
	3	Windowsの基本操作/タイピング練習文字入力の基本	21	ビジネス文書課題(表と図のあるビジネス文書)			
	4	文字入力の基本	22	ビジネス文書課題(表と図のあるビジネス文書)			
	5	文字入力の基本	23	ビジネス文書課題(表と図のあるビジネス文書)			
	6	文字入力の基本	24	ビジネス文書課題(表と図のあるビジネス文書)			
	7	ビジネス文書の書き方(ルールの説明)	25	ビジネス文書課題(表と図のあるビジネス文書)			
	8	ビジネス文書課題(表のないビジネス文書)	26	ビジネス文書課題(表と図のあるビジネス文書)			
	9	ビジネス文書課題(表のないビジネス文書)	27	日商PC検定文書作成検定 試験問題1			
	10	ビジネスメールの書き方(ルールの説明)→レポート提出	28	日商PC検定文書作成検定 試験問題2			
	11	ビジネスメール課題	29	日商PC検定文書作成検定 模擬問題3			
	12	表作成の基本	30	日商PC検定文書作成検定 模擬問題4			
	13	ビジネス文書課題(表のある文書)	31	日商PC検定文書作成検定 試験問題5			
	14	ビジネス文書課題(表のある文書)	32	日商PC検定文書作成検定 模擬問題1			
	15	ビジネス文書課題(表のある文書)	33	日商PC検定文書作成検定 模擬問題2			
	16	ビジネス文書課題(表のある文書)	34	後期復習問題			
	17	前期期末試験	35	期末試験			
18	前期期末試験の解答解説	36	期末試験の解答解説及び後期振り返り				
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付			
	学習態度・出席率	30%					
	レポート		成績評価			出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59 点以下は不合格	
	合計	100%					
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>0%						
講師プロフィール	電子部品商社に入社し国内営業アシスタントとして、商品の入出庫管理、見積書作成、売上の月次処理などの業務を担当。その後、大手特約代理店に転職し、パソコン教室の講師及び、テキスト作成、受付業務を担当。現在はフリーランスとして、新入社員研修を含む企業研修も担当している。						

シラバス

科目名	検定英語 I		担当者名	鈴木 良、山下 るみ、松井 佳子	
学 科	エアラインサービス科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	72時間
授業目的	TOEIC テストで 500～600 を取るのに必要な、語彙・リスニング理解・文法を習得し、基礎を固める。 さらにTOEICの学習を通して、異文化への関心と理解を深め、国際的なコミュニケーションスキルを身につけ、より広い視野を持てるようにする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	TOEICのストラテジーを実践を通して身につけると同時に、ボキャブラリー、リスニング力、文法力、読解力の底上げをする。				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・TOEICで頻出のボキャブラリー、フレーズを習得する。 ・文法の基礎を確認しながら、トレーニング問題をやっていく。 ・リスニング、リーディング両方のストラテジーを実践を通して身につける。 使用教材: TOEIC L&Rテスト書き込みドリル スコア500、フレーズ編、公式テキスト等				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	授業の説明・目標、TOEIC の説明、TOEIC Vocab	19	Reading/ Single Passages	
	2	Part 1 で出てくる人や物の描写の説明の仕方の学習、ボキャブラリー	20	Reading/ Single Passages	
	3	Part 1 で出てくる人や物の描写の説明の仕方の学習、ボキャブラリー	21	Reading/ Single Passages	
	4	Part 2で出てくる質問文のパターンの学習、文法、ボキャブラリー	22	Part 6 演習(長文穴埋め)、ボキャブラリー、文法	
	5	Part 2で出てくる質問文のパターンの学習、文法、ボキャブラリー	23	Part 6 演習(長文穴埋め)、ボキャブラリー、文法	
	6	Part 2で出てくる質問文のパターンの学習、文法、ボキャブラリー	24	Part 7 演習(読解問題)、ボキャブラリー、文法	
	7	Part 3で出てくる会話問題、概要を捉える練習、ボキャブラリー、文法、Reading 問題演習	25	Part 7 演習(読解問題)、ボキャブラリー、文法	
	8	Part 3で出てくる会話問題、概要を捉える練習、ボキャブラリー、文法、Reading 問題演習	26	復習、模試1	
	9	Part 3で出てくる会話問題、概要を捉える練習、ボキャブラリー、文法、Reading 問題演習	27	復習、模試2	
	10	Part 4で出てくる説明文問題、ボキャブラリー、文法、Reading 問題演習	28	復習、模試3	
	11	Part 4で出てくる説明文問題、ボキャブラリー、文法、Reading 問題演習	29	Listening 演習、文法	
	12	Part 4で出てくる説明文問題、ボキャブラリー、文法、Reading 問題演習	30	Listening 演習、文法	
	13	復習	31	復習	
	14	演習、夏期課題について	32	復習	
	15	課題解説、文法	33	復習	
	16	前期試験	34	復習	
	17	前期試験解説	35	学年末試験	
18	Reading/ Single Passages	36	試験返却、解説、意見交換		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	Microsoft Teams	
	学習態度・出席率	40%			
	レポート	10%	成績評価	単語小テスト等の小テスト、宿題、定期試験(前期・後期)、平常点	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>60% R<<実働実践型学習>>80% A<<主体的参加型学習>>60% G<<海外体感型学習>>100%				
講師プロフィール	鈴木 良、山下 るみ、松井 佳子				

シラバス

科目名	英会話 I A		担当者名	G.McArdle, P.Ripley, Ernest Chan	
学科	エアラインサービス科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間
授業目的	This class is about learning basic grammar and vocabulary used in conversational English, starting at the beginner level. このクラスは、英会話で使用される基本的な文法と語彙を初級レベルから学びます。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	Students will be able to communicate in English conversations about various commonly discussed topics. 学生は、よく議論されるさまざまなトピックについて英会話でコミュニケーションできるようにになります。				
授業概要	Students use the textbook "Four Corners" to learn a new grammar concept every week, as well as vocabulary associated with a specific conversational topic. 学生は教科書「Four Corners」を使用して、毎週新しい文法の概念と、特定の会話トピックに関連する語彙を学びます。				
授業計画表		授業内容			授業内容
	1	Unit 1 Lessons A + B	19	Unit 7 Lessons A + B	
	2	Unit 1 Lessons C + D	20	Unit 7 Lessons C + D	
	3	Final Exams	21	Mini Quiz	
	4	Unit 2 Lessons A + B	22	Unit 8 Lessons A + B	
	5	Unit 2 Lessons C + D	23	Unit 8 Lessons C + D	
	6	Mini Quiz	24	Unit Conversation Exam	
	7	Unit 3 Lessons A + B	25	Unit Conversation Exam	
	8	Unit 3 Lessons C + D	26	Unit 9 Lessons A + B	
	9	Mini Quiz	27	Unit 9 Lessons C + D	
	10	Unit 4 Lessons A + B	28	Mini Quiz	
	11	Unit 4 Lessons C + D	29	Unit 10 Lessons A + B	
	12	Unit Conversation Test	30	Unit 10 Lessons C + D	
	13	Unit Conversation Test	31	Mini Quiz	
	14	Unit 5 Lessons A + B	32	Unit 11 Lessons A + B	
	15	Unit 5 Lessons C + D	33	Unit 11 Lessons C + D	
	16	Mini Quiz	34	Unit 12 Lessons A + B	
	17	Unit 6 Lessons A + B	35	Unit 12 Lessons C + D	
18	Unit 6 Lessons C + D	36	Final Exams		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	Grades are given at the end of the semester. 成績は学期の終わりに提出されます。 S = 100%-90%, A = 89%-80%, B = 79%-70%, C = 69%-60%, 落第 = 59%-下	
	学習態度・出席率	50%			
	レポート	0%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>0% R<<実働実践型学習>>35% A<<主体的参加型学習>>35% G<<海外体感型学習>>30%				
講師プロフィール	I graduated from Bates College with a Bachelor's in Japanese Culture. I spent one year at Technos College as a Teaching Assistant and promoted to teacher. 私はベイツ大学を卒業し、日本文化の学士号を取得しました。私はテクノスカレッジでティーチングアシスタントとして1年間過ごし、その後教師に昇進しました。				

シラバス

科目名	観光英語	担当者名	松井 佳子、山下 るみ、岡崎 志織	
学 科	エアラインサービス科	授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数 36時間
授業目的	Inbound旅行者の需要が高まる中、海外旅行のみならず国内でも自信をもって英語を使えるようする。異文化を学び、広い視野でコミュニケーションを図れるようにする。			
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	観光英検3級取得			
授業概要	観光英検は英語力に加え、国外・国内の地理知識も必須です。観光旅行に必要な単語・文章を、リスニング、リーディング、スピーキングの角度から過去問を中心に学んでいきます。 後期授業は国内観光、ホテル、飲食業などで必要な英語をロールプレイをしながら学んでいきます。			
授業計画表		授業内容		授業内容
	1	授業目標、内容、観光英検、小テスト、課題、成績のつけ方の説明	19	3級単語テストReading & Listening section
	2	Travel	20	観光英検テスト終了後、Listening & 会話を重視した内容とする
	3	小テスト観光業界の様々な職業を学ぶ	21	小テストImmigration customs
	4	小テストAirline counter での check in/Fright attendantの仕事空港内の説明	22	小テストSan Franciscoをめぐる
	5	小テストImmigration Customs	23	小テスト食事の注文
	6	小テスト到着時の空港routine/Take a bus from the airport Lost and found	24	小テストAt the fast food
	7	小テストHotel Check in B&B	25	小テストお土産を選ぶ
	8	小テストBreakfast	26	小テスト靴屋での会話
	9	小テストMoney exchange/Tour を申し込む/Brouchureを読みとく	27	小テスト道案内
	10	小テストShopping Souvenirs and omiyage	28	小テストgetting to a Hotel
	11	小テストTrain Bus Plane/Buy a ticket/Time table	29	小テスト公共交通機関
	12	小テストBaggage missing Problems in the hotel room/様々なtrouble	30	小テスト電車の切符を買う
	13	小テスト世界の首都 観光名所	31	Hotel reservation
	14	お祭り伝統的なものや文化の英語表現	32	小テスト Hotel service
	15	3級単語テストReading & Listening section	33	小テストLost baggage/機内放送
	16	3級単語テストReading & Listening section	34	学年末テストに向けての確認作業
	17	前期のまとめ	35	
18	3級単語テストReading & Listening section	36	成績発表1年の総復習	
成績割合	テスト	前後期学期末テスト 各25点	学習FB方法	前期、後期 成績表を配布
	学習態度・出席率	出席 授業態度 観光英検の結果 25点		
	レポート	小テスト 課題提出 合わせて25点	成績評価	出席率80%以上 S90点-100点 A89-80点 B70点-79点 C60点-69点 D59点以下は不合格
	合計	100%		
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>80% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>80% G<<海外体感型学習>>			
講師プロフィール	担当クラス 松井佳子(A) 山下るみ(B) 岡崎志織(C)			

シラバス

科目名	APO概論 I		担当者名	松井 哲至	
学 科	エアラインサービス科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	72時間
授業目的	この授業では、実際に空港で働く現役社員が登壇し、現場でのリアルな仕事内容ややりがい、グランドハンドリングとグランドスタッフ業務の魅力をお伝えします。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	空港ハンドリング業務の基本的な知識を習得するとともに、現役社員の実体験を通じて、現場のリアルな業務内容ややりがい、そして現在の空港業務に関する最新の動向について理解を深める。				
授業概要	本授業では、空港におけるハンドリング業務の全体像を「APO概論」を通じて学びます。グランドスタッフ(GS)およびグランドハンドリング(GH)と呼ばれる空港の地上支援業務について、役割や業務内容、安全管理の重要性など、基礎的な知識を身につけることが目的です。 また、実際に空港で活躍する現役社員が登壇し、日々の業務や現場で感じるやりがい、工夫、さらには現在の空港を取り巻く時事的な話題についても紹介します。リアルな現場の声に触れることで、教科書だけでは得られない「今」の空港の姿を理解し、将来の進路選択や職業観の醸成にもつなげていきます。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	空港座学 I	19	INTソーティング I	
	2	空港座学 I	20	INTソーティング I	
	3	空港座学 II	21	INTソーティング I	
	4	空港座学 II	22	INTソーティング I	
	5	DOMFLY I	23	空港グランドハンドリング(実施場所:成田国際空港)	
	6	DOMFLY I	24	空港グランドハンドリング(実施場所:成田国際空港)	
	7	DOMFLY I	25	空港グランドハンドリング(実施場所:成田国際空港)	
	8	DOMFLY I	26	空港グランドハンドリング(実施場所:成田国際空港)	
	9	DOMFLY I	27	空港グランドハンドリング(実施場所:成田国際空港)	
	10	DOMFLY I	28	空港グランドハンドリング(実施場所:成田国際空港)	
	11	DOMソーティング I	29	DEP業務基礎 I	
	12	DOMソーティング I	30	DEP業務基礎 I	
	13	DOMソーティング I	31	DEP業務基礎 I	
	14	DOMソーティング I	32	前期テスト	
	15	DOMソーティング I	33	DEP業務基礎 I	
	16	DOMソーティング I	34	DEP業務基礎 I	
	17	INTソーティング I	35	コントロール業務 I	
18	INTソーティング I	36	コントロール業務 I		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法		
	学習態度・出席率	40%			
	レポート	10%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>30 R<実働実践型学習>30 A<主体的参加型学習>30 G<海外体感型学習>10				
講師プロフィール	株式会社エコーパートナーズからの非常勤講師 現在成田空港で空港ハンドリング全般をおこなっております (グランドハンドリング・グランドスタッフ) 毎週各セクションから現役のインストラクターを派遣します。 また最新の空港時事共有等ハンドリングだけではなく航空業全体の知識も付与します。				

シラバス

科目名	エアライン・マネジメント I		担当者名	藤田 知生		
学 科	エアラインサービス科		授業方法	講義		
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	72時間	
授業目的	航空業界の成り立ち、マネジメント方法、世界情勢を通して、航空業界全体を理解する。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	航空業界とは、を知り、業界を探究する事を目標とする。					
授業概要	航空業界の歴史を紐解き、航空業界のマネジメントのみならず、世界情勢を学び、幅広い知識を得る。					
授業計画表	授業内容			授業内容		
	1	年間スケジュール紹介、イントロダクション	19	前期学習内容振り返り(Review)		
	2	航空事業の概要と歴史①	20	航空事業と地政学		
	3	航空事業の概要と歴史②	21	リスクマネジメント		
	4	航空運賃の仕組み	22	安全		
	5	航空会社の旅客販売事業①	23	ブランディングと顧客満足度		
	6	航空会社の旅客販売事業②	24	航空各社のブランディング、マーケティング実例考察①		
	7	路線収支と運航計画	25	航空各社のブランディング、マーケティング実例考察②		
	8	機材計画	26	貨物事業について		
	9	本邦内航空路線(国内線)事業	27	付帯事業について		
	10	国際航空路線事業	28	LCCについて		
	11	航空会社と空港施設	29	観光開発と地域創成		
	12	航空保安	30	航空業界の未来		
	13	アライアンスビジネス	31	フリーディスカッション		
	14	前期学習内容まとめ(Wrap Up)	32	後期学習内容まとめ(Wrap Up)		
	15	前期試験対策	33	後期試験対策		
	16	前期試験	34	後期試験		
	17	前期試験結果考察	35	後期試験結果考察		
18	フリーディスカッション	36	年間学習内容振り返り(Review)、クロージング			
成績割合	テスト	30%	学習FB方法	授業への出席率、課題提出等踏まえ、前後期でそれぞれ成績判定。 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格		
	学習態度・出席率	40%				
	レポート	30%	成績評価			
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30 R<<実働実践型学習>>30 A<<主体的参加型学習>>40 G<<海外体感型学習>>					
講師プロフィール	H.I.S.に入社後、日本航空にて21年間勤務後、現在はツアーリストインターナショナルアシスタンスサービスにて勤務。					

シラバス

科目名	エアラインEnglish I		担当者名	岡崎 志織			
学 科	エアラインサービス科		授業方法	講義			
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間		
授業目的	航空業界で使う英語の基礎を学ぶ						
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	航空業界で使う英語の基礎を学び、実際に使われている会話をロールプレイを交えながら取得						
授業概要	必要な場面で使う英語を理解し、ロールプレイをすることにより、よりスムーズに英語を使えるようにする						
授業計画表	授業内容			授業内容			
	1	オリエンテーション	19	Unit 8 In-Flight Problems			
	2	Communication in the CabinUnit 1 Airline Flight	20	Unit 8 In-Flight Problems			
	3	Unit 1 Airline Flight	21	Unit 9 Emergency			
	4	Unit 2 Aircraft	22	Unit 9 Emergency			
	5	Unit 2 Aircraft	23	Unit 10 Landing			
	6	Unit 3 Aircraft Crew	24	Unit 10 Landing			
	7	Unit 3 Aircraft Crew	25	Unit 1~10 総復習			
	8	Unit 4 Ore-Flight Briefing	26	Unit 1~10 総復習			
	9	Unit 4 Ore-Flight Briefing	27	Communicate in the AirportUnit1 Parts of an Airport			
	10	Unit 5 Boarding	28	Unit1 Parts of an Airport			
	11	Unit 5 Boarding	29	Unit 2 Information counter			
	12	Unit 6 Take-Off	30	Unit 2 Information counter			
	13	Unit 6 Take-Off	31	Unit 3 Check-in Counter			
	14	前期末試験対策 Unit 1~Unit 6 復習	32	Unit 3 Check-in Counter			
	15	前期末試験	33	Unit 4 Flight Information Board			
	16		34	学年末試験対策、総復習			
	17	Unit 7 Food & Drinks	35	学年末試験			
18	Unit 7 Food & Drinks	36					
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	教科書の単元終了後に行う			
	学習態度・出席率	30%					
	レポート	小テスト、レポート10%	成績評価			S ,A ,B ,C,D	
	合計	100%					
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>ディスカッションによる問題解決 R<<実働実践型学習>>ロールプレイによる航空業界の接客会話練習、業界用語、Airline Alphabetの学習、Airline業務の流石の学習 A<<主体的参加型学習>>事前学習することにより、授業への積極的参加を促す G<<海外体験型学習>>ロールプレイによる実践的会話練習TA参加による実践授業						
講師プロフィール	大学卒業後、日本航空 国際線に7年間勤務 在米6年 在独2年 カリフォルニア大学にてTESL(英語教員免許)取得 日米の教員免許所有 日本語教師資格所有 国際線CAとしての経験、また長い海外生活で得た、グローバルな視点からのホスピタリティーに満ちた実践的なエアライン英語の授業を心がけています。						

シラバス

科目名	セルフブランディング		担当者名	松井 佳子	
学 科	エアラインサービス科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	1単位 1学年	開講期 必・選	前期 必選	授業時間数	36時間
授業目的	身だしなみ、立ち居振る舞い、着こなしをマスターし、航空業界での振る舞いを理解する				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	社会人としてはもとより、航空業界で必要なマナーを身に付ける				
授業概要	TPOにあった身だしなみ、言葉遣い、立ち居振る舞いをマスターする。合わせて日本文化の担い手として精神性を高める。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	自己紹介 成績のつけ方 目標設定	19		
	2	身だしなみ 立ち方 挨拶 お辞儀	20		
	3	メイク 立ち方 挨拶 お辞儀	21		
	4	髪のおまとめ方 walking の基礎	22		
	5	笑顔 座り方 物の渡し方 walking	23		
	6	敬語 walking	24		
	7	クッション言葉 思いやりのある言葉 walking	25		
	8	様々な状況を想定してのロールプレイ	26		
	9	食事のマナー 席次 walking	27		
	10	面接を想定しての動き walking	28		
	11	褒めあいトーク きれいな姿勢で座り続ける walking ジョハリの窓	29		
	12	内省 自分の好きなおところを100個書き出す	30		
	13	前期に習ったことが身についているか総チェック	31		
	14		32		
	15	茶道 walking	33		
	16	最初の授業との比較 今後の目標設定	34		
	17		35		
18		36			
成績割合	テスト	30点	学習FB方法	成績表 毎回の授業におけるコメント	
	学習態度・出席率	50点			
	レポート	20点	成績評価	S90-100点 A80-89点 B 70-79点 C60-69点 D 59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>80% R<<実働実践型学習>>80% A<<主体的参加型学習>>80% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	日本国空 国際客室乗員部7年勤務 本校講師として18年勤務(美育、英語講座担当)				

シラバス

科目名	基礎英語 I		担当者名	鈴木 良		
学 科	エアラインサービス科		授業方法	講義		
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間	
授業目的	TOEIC Part 5, Part 6 の文法問題を解く上で必要な英文法を習得する。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	TOEIC Part 5, Part 6 における文法問題を理解し解けるようにする。 TOEIC 基本ボキャブラリー 400 を身につける。					
授業概要	英文法に関するドリル、練習問題、アクティビティーを行う。TOEIC に必要な単語小テストも行う。					
授業計画表	授業内容			授業内容		
	1	Memory game、可算名詞・不可算名詞	19	ボキャブラリー小テスト 3.1、動詞問題		
	2	名詞、ボキャブラリー 1.1 イントロ	20	ボキャブラリー小テスト 3.1、動詞問題		
	3	ボキャブラリー小テスト 1.1、文型①	21	ボキャブラリー小テスト 3.3、動詞問題・人称代名詞問題		
	4	ボキャブラリー小テスト 1.2、文型②	22	ボキャブラリー小テスト 3.4、動詞問題・人称代名詞問題		
	5	ボキャブラリー小テスト 1.3、文型③	23	ボキャブラリーまとめ小テスト 3.1-3.4、準動詞問題		
	6	ボキャブラリー小テスト 1.4、形容詞・副詞	24	ボキャブラリー小テスト 4.1、準動詞問題		
	7	ボキャブラリーまとめ小テスト 1.1-1.4、文型④	25	ボキャブラリー小テスト 4.2、準動詞問題		
	8	ボキャブラリー小テスト 2.1、品詞当てクイズ	26	ボキャブラリー小テスト 4.3、準動詞問題・不定代名詞と数量を表す代名詞		
	9	接尾辞小テスト①、品詞問題・前置詞問題・接続詞問題(前期 TOEIC テスト本番)	27	ボキャブラリー小テスト 4.4、準動詞問題・不定代名詞と数量を表す代名詞		
	10	ボキャブラリー小テスト 2.2、品詞問題・前置詞問題・接続詞問題	28	接尾辞小テスト②、準動詞問題・不定代名詞と数量を表す代名詞		
	11	ボキャブラリー小テスト 2.3、期末試験対策	29	ボキャブラリーまとめ小テスト 4.1-4.4、比較問題		
	12	前期期末試験	30	比較問題		
	13	ボキャブラリー小テスト 2.4、動詞問題	31	接尾辞小テスト③、比較問題(後期 TOEIC テスト本番)		
	14	ボキャブラリーまとめ小テスト 2.1-2.4、動詞問題	32	期末試験対策		
	15	まとめ	33	まとめ		
	16	まとめ	34	まとめ		
	17	まとめ	35	後期期末試験		
18	まとめ	36	試験返却			
成績割合	テスト	30%(学期末)、40%(ボキャブラリー小テスト)		学習FB方法	口頭	
	学習態度・出席率	30%				
	レポート	0%		成績評価	小テスト、定期試験(前期・後期)、平常点	
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>60% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>60% G<<海外体感型学習>>100%					
講師プロフィール	TOEIC Listening & Reading テスト スコア990点取得、英検1級、中学校・高等学校教員免許(英語)取得					

シラバス

科目名	応用ゼミ		担当者名	三ツ井 好和	
学 科	エアラインサービス科		授業方法	ゼミ	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	72時間
授業目的	観光・ツーリズム、エアラインの観点より地域振興の担い手の手法を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	<ul style="list-style-type: none"> ・観光及び地域振興の現状と課題を理解する。 ・現状の問題点や課題を学び、その解決策を策定し、企画提案をする。 ・伊豆大島の障害者休養ホーム事業所指定の「ペンションすばる」の利用価値を高め、産復連携の旅行プランを考案する。 				
授業概要	業界知識や現状の課題などを学び理解した上で、フィールドワークを実施する。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション①	19	フィールドワーク(現状認識)	
	2	オリエンテーション②	20	フィールドワークの準備(現状認識)	
	3	観光学概論(旅行業界の事業構造分析)	21	フィールドワーク(現状認識)	
	4	観光学概論(旅行業の分析とビジネス形態)	22	フィールドワーク(課題の探求)	
	5	観光学概論(旅行商品、旅行商品造成・流通)	23	フィールドワーク(課題の探求)	
	6	観光学概論(観光の成り立ちと成立過程)	24	フィールドワーク(課題の探求)	
	7	観光学概論(宿泊ビジネスの成立)	25	フィールドワーク(解決策策定)	
	8	観光学概論(ホテル業の経営戦略・経営形態)	26	フィールドワーク(解決策策定)	
	9	観光学概論(観光における交通事業との関わり)	27	フィールドワーク(解決策策定)	
	10	観光学概論(鉄道ビジネスの特徴と役割)	28	企画提案(準備)	
	11	観光学概論(航空ビジネスとその展開)	29	企画提案(準備)	
	12	地域振興(地域振興と様々なツーリズムの出現)	30	企画提案(準備)	
	13	地域振興(地域振興とニューツーリズム)	31	企画提案(中間発表)	
	14	地域振興(観光が果たす経済活性化の効果)	32	企画提案(中間発表)	
	15	地域振興(レジャー観光施設とビジネスの成立・経営)	33	最終発表(準備)	
	16	地域振興(インバウンド・ビジネスの課題)	34	最終発表(準備)	
	17	フィールドワークの準備	35	最終発表(準備)	
18	フィールドワークの準備	36	最終発表		
成績割合	テスト		学習FB方法	適宜、課題またはレポートを課す	
	学習態度・出席率	80			
	レポート	20	成績評価	出席率80%以上 100点～90点:S 89点～80点:A 79点～70点:B 69点～60点:C59点以下:D(不合格)	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>35% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>35% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	京王電鉄勤務(1982～2018年) 明星大学経営学部教員(2019年～現在)				

シラバス

科目名	APO概論Ⅱ		担当者名	松井 哲至	
学 科	エアラインサービス科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	1単位 2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間
授業目的	この授業では、実際に空港で働く現役社員が登壇し、現場でのリアルな仕事内容ややりがい、グランドハンドリングとグランドスタッフ業務の魅力をお伝えします。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	空港ハンドリング業務の基本的な知識を習得するとともに、現役社員の実体験を通じて、現場のリアルな業務内容ややりがい、そして現在の空港業務に関する最新の動向について理解を深める。				
授業概要	本授業では、空港におけるハンドリング業務の全体像を「APO概論」を通じて学びます。グランドスタッフ(GS)およびグランドハンドリング(GH)と呼ばれる空港の地上支援業務について、役割や業務内容、安全管理の重要性など、基礎的な知識を身につけることが目的です。 また、実際に空港で活躍する現役社員が登壇し、日々の業務や現場で感じるやりがい、工夫、さらには現在の空港を取り巻く時事的な話題についても紹介します。リアルな現場の声に触れることで、教科書だけでは得られない「今」の空港の姿を理解し、将来の進路選択や職業観の醸成にもつなげていきます。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	空港座学Ⅳ	19	前期テスト	
	2	空港空港座学Ⅴ	20	DEP業務基礎Ⅱ	
	3	DOMFLYⅡ	21	コントロール業務Ⅱ	
	4	DOMFLYⅡ	22	INTFLYⅡ	
	5	DOMFLYⅡ	23	INTFLYⅡ	
	6	DOMソーティングⅡ	24	INTFLYⅡ	
	7	DOMソーティングⅡ	25	旅客基礎Ⅱ	
	8	DOMソーティングⅡ	26	旅客基礎Ⅱ	
	9	INTソーティングⅡ	27	LCC旅客Ⅱ	
	10	INTソーティングⅡ	28	LCC旅客Ⅱ	
	11	INTソーティングⅡ	29	LCC旅客ハンドリング(実施場所:成田国際空港)	
	12	空港グランドハンドリング(実施場所:成田国際空港)	30	LCC旅客ハンドリング(実施場所:成田国際空港)	
	13	空港グランドハンドリング(実施場所:成田国際空港)	31	LCC旅客ハンドリング(実施場所:成田国際空港)	
	14	空港グランドハンドリング(実施場所:成田国際空港)	32	LCC旅客ハンドリング(実施場所:成田国際空港)	
	15	空港グランドハンドリング(実施場所:成田国際空港)	33	LCC旅客ハンドリング(実施場所:成田国際空港)	
	16	空港グランドハンドリング(実施場所:成田国際空港)	34	LCC旅客ハンドリング(実施場所:成田国際空港)	
	17	空港グランドハンドリング(実施場所:成田国際空港)	35	LCC旅客Ⅱ	
	18	DEP業務基礎Ⅱ	36	ヒューマンファクター教育Ⅰ	
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	成績評価	
	学習態度・出席率	40%			
	レポート	10%			
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30 R<<実働実践型学習>>30 A<<主体的参加型学習>>30 G<<海外体感型学習>>10				
講師プロフィール	エコーパートナーズ株式会社より、非常勤講師として出向。 回により成田空港でのグランドハンドリングインストラクターやグランドスタッフインストラクターが実際に教えている内容や空港の時事を毎週紹介します。				

シラバス

科目名	接遇手話Ⅱ		担当者名	小川 奈緒子		
学 科	エアラインサービス科		授業方法	講義		
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間	
授業目的	①聴覚障がいについて理解を深める。 ②手話での基礎的な日常会話を習得し、コミュニケーション力を高める。 ③社会的マイノリティの理解を深める。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	日常会話の手話語彙の習得。接遇手話の学習。聴覚障がい者への対応技術を学ぶ。					
授業概要	聴覚障がい者に配慮したサービスのあり方などの座学。日常会話や接遇手話の実技。聴覚障がいゲスト講師との交流。					
授業計画表	授業内容			授業内容		
	1	基本の復習と確認	19	接遇手話		
	2	基本の復習と確認	20	接遇手話		
	3	基本の復習と確認	21	接遇手話		
	4	基本の復習と確認	22	接遇手話		
	5	日常会話(例文練習)	23	ゲスト授業事前学習(ろう文化等)		
	6	日常会話(例文練習)	24	ゲスト講師(聴覚障がい者)を招いて		
	7	日常会話(例文練習)	25	聴覚障がい者の特性を理解する・先週の感想等の共有		
	8	日常会話(例文練習)	26	後期の復習		
	9	接遇手話	27	後期の復習/手話ソング(Xmasソング)		
	10	接遇手話	28	時節の手話		
	11	自己紹介の総復習	29	1年間の総復習		
	12	自己紹介の総復習	30	1年間の総復習		
	13	前期の復習	31	学年末試験(表出試験)		
	14	前期の復習	32	学年末試験(読み取り/筆記試験)		
	15	前期末試験(表出試験)	33	試験の返却/解説		
	16	前期末試験(読み取り/筆記試験)	34			
	17	試験の返却/解説(前期の振り返り)	35			
18	前期のまとめ	36				
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	使用教材「豊かなコミュニケーション」(NPO法人東京都中途失聴。難聴者協会発行)		
	学習態度・出席率	30%				
	レポート	10%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89点 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格		
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>10% R<<実働実践型学習>>40% A<<主体的参加型学習>>40% G<<海外体感型学習>>10%					
講師プロフィール	手話通訳士として講演会・会議。その他の日常生活での手話通訳活動や手話指導経験を積んでいる。					

シラバス

科目名	英会話ⅡA		担当者名	G.McArdle		
学科	エアラインサービス科		授業方法	講義		
認定単位 開講学年	2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間	
授業目的	An introductory class to English Conversation for beginners. 初心者向け英会話入門クラス					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	The goal of this class is to establish a foundation for English language study and English conversation practice. このクラスの目標は、英語学習と英会話練習の基礎を確立することです。					
授業概要	Learn the basics of English conversation, including grammar and vocabulary. The students in this class will be able to describe their general environment with the English skills they will acquire. 文法や語彙など、英会話の基礎を学びます。このクラスの生徒は、習得する英語力を使って自分の一般的な環境を説明できるようになります。					
授業計画表		授業内容			授業内容	
	1	Unit 2 Lesson A		19	Unit 8 Lesson A	
	2	Unit 2 Lesson B		20	Unit 8 Lesson B	
	3	Unit 2 Lesson C		21	Unit 8 Lesson C	
	4	Unit 2 Lesson D		22	Unit 8 Lesson D	
	5	Speaking Test		23	Speaking Test	
	6	Speaking Test		24	Speaking Test	
	7	Unit 4 Lesson A		25	Unit 10 Lesson A	
	8	Unit 4 Lesson B		26	Unit 10 Lesson B	
	9	Unit 4 Lesson C		27	Unit 10 Lesson C	
	10	Unit 4 Lesson D		28	Unit 10 Lesson D	
	11	Speaking Test		29	Speaking Test	
	12	Speaking Test		30	Speaking Test	
	13	Unit 6 Lesson A		31	Unit 12 Lesson A	
	14	Unit 6 Lesson B		32	Unit 12 Lesson B	
	15	Unit 6 Lesson C		33	Unit 12 Lesson C	
	16	Unit 6 Lesson D		34	Unit 12 Lesson D	
	17	Speaking Test		35	Speaking Test	
18	Speaking Test		36	Speaking Test		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	Grades are submitted at the end of the semester. 成績は学期の終わりに提出されま		
	学習態度・出席率	50%				
	レポート		成績評価	S = 100%-90%, A = 89%-80%, B = 79%-70%, C = 69%-60%, 落第 = 59%-下		
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>25% R<<実働実践型学習>>25% A<<主体的参加型学習>>25% G<<海外体感型学習>>25%					
講師プロフィール						

シラバス

科目名	英会話ⅡA		担当者名	Emily Morse		
学科	エアラインサービス科		授業方法	講義		
認定単位 開講学年	2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間	
授業目的	An introductory class to English Conversation for beginners. 初心者向け英会話入門クラス					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	The goal of this class is to establish a foundation for English language study and English conversation practice. このクラスの目標は、英語学習と英会話練習の基礎を確立することです。					
授業概要	Learn the basics of English conversation, including grammar and vocabulary. The students in this class will be able to describe their general environment with the English skills they will acquire. 文法や語彙など、英会話の基礎を学びます。このクラスの生徒は、習得する英語力を使って自分の一般的な環境を説明できるようになります。					
授業計画表	授業内容			授業内容		
	1	Unit 2 Lesson A	19	Unit 8 Lesson A		
	2	Unit 2 Lesson B	20	Unit 8 Lesson B		
	3	Unit 2 Lesson C	21	Unit 8 Lesson C		
	4	Unit 2 Lesson D	22	Unit 8 Lesson D		
	5	Speaking Test	23	Speaking Test		
	6	Speaking Test	24	Speaking Test		
	7	Unit 4 Lesson A	25	Unit 10 Lesson A		
	8	Unit 4 Lesson B	26	Unit 10 Lesson B		
	9	Unit 4 Lesson C	27	Unit 10 Lesson C		
	10	Unit 4 Lesson D	28	Unit 10 Lesson D		
	11	Speaking Test	29	Speaking Test		
	12	Speaking Test	30	Speaking Test		
	13	Unit 6 Lesson A	31	Unit 12 Lesson A		
	14	Unit 6 Lesson B	32	Unit 12 Lesson B		
	15	Unit 6 Lesson C	33	Unit 12 Lesson C		
	16	Unit 6 Lesson D	34	Unit 12 Lesson D		
	17	Speaking Test	35	Speaking Test		
18	Speaking Test	36	Speaking Test			
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	Grades are submitted at the end of the semester. 成績は学期の終わりに提出されま		
	学習態度・出席率	50%				
	レポート		成績評価	S = 100%-90%, A = 89%-80%, B = 79%-70%, C = 69%-60%, 落第 = 59%-下		
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>25% R<<実働実践型学習>>25% A<<主体的参加型学習>>25% G<<海外体感型学習>>25%					
講師プロフィール						

シラバス

科目名	TOEIC		担当者名	鈴木 良	
学 科	エアラインサービス科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	TOEIC Listening & Reading テストの形式を知り、スコア500点以上を取得できるよう、ボキャブラリー、リスニング、文法、リーディング力を高める。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	各パートごとのリスニングのコツを学び、100問中67問以上(TOEIC テストリスニングセクション 300点以上)正解を目指す。 Part 5 の文法問題の解き方の基本を学ぶ。文型、品詞などの必要な知識にも触れる。 毎週行う小テストを通し TOEIC 頻出単・熟語400語(TOEIC テスト 400-600レベル)を学ぶ。 模試を通し、実際のテストの感覚を身につける。				
授業概要	TOEIC 500点取得に必要なボキャブラリーを身につけるため、毎回小テストを行う。リスニングの演習を通し、解き方の戦略(strategies)を身につける。模試を定期的に行い、学んだスキルを実践する機会を設ける。リスニングが中心となるが、時間が許す限りリーディングセクションの問題の解き方も指導する。効率的な学習のために毎回、解いた問題を授業後に復習することが大事であるが、TOEIC テスト本番で目標の点数に届くためには、特に小テストで学んだボキャブラリー 400 を継続的に復習することによって、マスターすることが必須である。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	ボキャブラリー力試しテスト、Common objects イントロ、文型①	19	ボキャブラリー小テスト 3.3、トレーニング・リスニング編 2 S5	
	2	ボキャブラリー 1.1 イントロ、トレーニング・リスニング編 2 S1、文型②	20	ボキャブラリー小テスト 3.4、トレーニング・リスニング編 2 S5	
	3	ボキャブラリー小テスト 1.1、トレーニング・リスニング編 2 S1、文型③	21	ボキャブラリーまとめ小テスト 3.1-3.4、トレーニング・リスニング編 2 S6	
	4	ボキャブラリー小テスト 1.2、Part 2「WH questions」、文型④	22	ボキャブラリー小テスト 4.1、トレーニング・リスニング編 2 S6	
	5	ボキャブラリー小テスト 1.3、Part 2「選択疑問文」、文型⑤	23	ボキャブラリー小テスト 4.2、トレーニング・リスニング編 2 S7	
	6	ボキャブラリー小テスト 1.4、Part 2「依頼・許可・提案・勧誘の文」、品詞	24	ボキャブラリー小テスト 4.3、トレーニング・リスニング編 2 S7	
	7	ボキャブラリーまとめ小テスト 1.1-1.4、Parts 1-2 模試①、品詞	25	ボキャブラリー小テスト 4.4、トレーニング・リスニング編 2 S8	
	8	ボキャブラリー小テスト 2.1、Parts 3-4 模試①	26	ボキャブラリーまとめ小テスト 4.1-4.4、Parts 3-4 模試②	
	9	ボキャブラリー小テスト 2.2、トレーニング・リスニング編 2 S2、Jobs 1	27	Parts 3-4 模試①	
	10	トレーニング・リスニング編 2 S2、Jobs 2	28	Reading Section 模試②	
	11	ボキャブラリー小テスト 2.3、Listening Section 模試①	29	Listening Section 模試②	
	12	Reading Section 模試①	30	トレーニング・リスニング編 2 S9	
	13	ボキャブラリー小テスト 2、トレーニング・リスニング編 2 S3	31	期末試験対策	
	14	ボキャブラリーまとめ小テスト 2.1-2.4、トレーニング・リスニング編 2 S3、Memory g	32	まとめ	
	15	期末試験対策	33	まとめ	
	16	前期期末試験	34	まとめ	
	17	ボキャブラリー小テスト 3.1、トレーニング・リスニング編 2 S4	35	まとめ	
18	ボキャブラリー小テスト 3.2、トレーニング・リスニング編 2 S4	36	後期期末試験		
成績割合	テスト	30%(学期末)、40%(ボキャブラリー小テスト)	学習FB方法	口頭	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	0%	成績評価	単語小テスト等の小テスト、宿題、定期試験(前期・後期)、平常点	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>60% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>60% G<<海外体感型学習>>100%				
講師プロフィール	TOEIC Listening & Reading テスト スコア990点取得、英検1級、中学校・高等学校教員免許(英語)取得				

シラバス

科目名	PC実習Ⅱ		担当者名	千葉 輝子	
学科	エアラインサービス科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	72時間
授業目的	Power Point・Excel共に、実務で役立つ機能を身に付ける				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	前期:PowerPointの基本操作及び効率の良いプレゼン資料の作成方法を身に付ける 後期:Excelの基本操作及び効率の良い表(計算含む)、グラフの作成方法を身に付ける				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・毎授業、タイピング練習の実施(1年次に習得したタイピング力のアップを図る) ・PowerPointの基本操作を習得後、与えられたテーマをもとに各自プレゼン資料を作成し発表 ・Excelの基本操作を習得し、効率良く表やグラフを作成できるようなスキルを身に付ける 				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	前期期末試験 振り返り・復習	
	2	オリエンテーション	20	編集、書式設定	
	3	科目ガイダンス	21	表作成練習課題	
	4	Power Pointの基本操作/スライドの作成(アウトライン表示)	22	グラフ作成の基本	
	5	スライドの作成 図	23	課題(計算、表の装飾、グラフ)	
	6	スライドの作成 SmartArt・グラフ・表	24	数式と関数の操作	
	7	スライドの作成 発表用原稿、配布資料について	25	数式と関数の操作	
	8	課題「日本情報処理検定協会 1級レベル」	26	表作成課題	
	9	中間試験1「日本情報処理検定協会 1級レベル」	27	表作成課題	
	10	発表用資料作成	28	表作成課題	
	11	発表用資料作成	29	表作成課題	
	12	発表用資料作成	30	表作成課題	
	13	中間試験2 プレゼン発表	31	表作成課題	
	14	Excelの基本操作	32	表作成課題	
	15	基本の関数と四則演算	33	後期期末試験 振り返り・復習	
	16	基本の関数と四則演算	34	まとめ	
	17	前期期末試験	35	まとめ	
18	前期期末試験 振り返り・復習	36	まとめ		
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	20%			
	レポート	10%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59 点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>100% R<<実働実践型学習>>100% A<<主体的参加型学習>>100% G<<海外体感型学習>>20%				
講師プロフィール	電子部品商社に入社し国内営業アシスタントとして、商品の入庫管理、見積書作成、売上の月次処理などの業務を担当。 その後、大手特約代理店に転職し、パソコン教室の講師及び、テキスト作成、受付業務を担当。 現在はフリーランスとして、新入社員研修を含む企業研修も担当している。				

シラバス

科目名	ビジネスマナーⅡ		担当者名	相川 奏恵	
学 科	エアラインサービス科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間
授業目的	社会で即戦力となる為にビジネスマナーを身につけ、社会人としての意識の持ち方、顧客満足を向上させる応対力と仕事のすすめ方を習得する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	<ul style="list-style-type: none"> ■就活力を身につける ■ビジネスマナーとコミュニケーション力を身につけ、職場での即戦力を身につける ■幅広い視野を持ち、積極的なキャリア形成に役立てる 				
授業概要	コミュニケーション力を高める為の話し方・聞き方・ことば遣いを身につけ電話・来客・訪問の応対力を養う。社内・社外・社交文書の知識を身につける。会社組織を理解し、報連相を演習で学ぶ。配慮の必要な顧客への対応や心理を学び、顧客満足度を高める。自己啓発と自己管理の出来る社会人を目指す。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション・授業目標・メールのマナー	19	電話応対③	
	2	文章上達1	20	バリエアフリー①	
	3	自己分析・逆転の発想	21	バリエアフリー②	
	4	GD攻略法・働く目的・世界の就活	22	来客応対・名刺交換	
	5	実習のマナー	23	訪問・席次・紹介	
	6	働くということ	24	クレーム対応①	
	7	ストローク	25	クレーム対応②	
	8	8つの意識	26	指示命令の受け方と報連相	
	9	顧客心理	27	上手な仕事の進め方①	
	10	敬語①	28	上手な仕事の進め方②	
	11	敬語②	29	上手な仕事の進め方③	
	12	敬語③	30	段取り力・8つの意識	
	13	敬語テスト・世界の学校	31	文章上達②	
	14	ビジネス文書①	32	創造力を高める①	
	15	ビジネス文書②	33	想像力を高める②	
	16	会社の使命・社員の役割	34	想像力を高める③	
	17	電話応対①	35	愛される社員になるために・上手な指導の受け方	
	18	電話応対②	36	振り返り・まとめ	
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	討議・演習個別評価とアドバイス 定期テスト解説	
	学習態度・出席率	10%・20%			
	レポート	10%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89点 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	エアーニッポン(株)にてCA業務及び教育訓練教官業務(新人・中堅社員研修、緊急保安訓練教育・マニュアル作成)を経験。現在は日本講師協会にて電話応対、課題解決、新入社員研修等を実施。実績は環境庁、各市役所、埼玉県産業振興公社・東京都済生会中央病院・日本旅行・りそな総研・みずほ不動産・三菱ビルテクノサービス・SEGA・FC東京他				

シラバス

科目名	英会話ⅡB		担当者名	Ernest Chan		
学科	エアラインサービス科		授業方法	講義		
認定単位 開講学年	2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間	
授業目的	An introductory class to English Conversation for beginners. 初心者向け英会話入門クラス					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	The goal of this class is to establish a foundation for English language study and English conversation practice. このクラスの目標は、英語学習と英会話練習の基礎を確立することです。					
授業概要	Learn the basics of English conversation, including grammar and vocabulary. The students in this class will be able to describe their general environment with the English skills they will acquire. 文法や語彙など、英会話の基礎を学びます。このクラスの生徒は、習得する英語力を使って自分の一般的な環境を説明できるようになります。					
授業計画表		授業内容			授業内容	
	1	Unit 2 Lesson A		19	Unit 8 Lesson A	
	2	Unit 2 Lesson B		20	Unit 8 Lesson B	
	3	Unit 2 Lesson C		21	Unit 8 Lesson C	
	4	Unit 2 Lesson D		22	Unit 8 Lesson D	
	5	Speaking Test		23	Speaking Test	
	6	Speaking Test		24	Speaking Test	
	7	Unit 4 Lesson A		25	Unit 10 Lesson A	
	8	Unit 4 Lesson B		26	Unit 10 Lesson B	
	9	Unit 4 Lesson C		27	Unit 10 Lesson C	
	10	Unit 4 Lesson D		28	Unit 10 Lesson D	
	11	Speaking Test		29	Speaking Test	
	12	Speaking Test		30	Speaking Test	
	13	Unit 6 Lesson A		31	Unit 12 Lesson A	
	14	Unit 6 Lesson B		32	Unit 12 Lesson B	
	15	Unit 6 Lesson C		33	Unit 12 Lesson C	
	16	Unit 6 Lesson D		34	Unit 12 Lesson D	
	17	Speaking Test		35	Speaking Test	
18	Speaking Test		36	Speaking Test		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	Grades are submitted at the end of the semester. 成績は学期の終わりに提出されま		
	学習態度・出席率	50%				
	レポート		成績評価	S = 100%-90%, A = 89%-80%, B = 79%-70%, C = 69%-60%, 落第 = 59%-下		
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>25% R<<実働実践型学習>>25% A<<主体的参加型学習>>25% G<<海外体感型学習>>25%					
講師プロフィール	英語を母国語とするネイティブスピーカー					

シラバス

科目名	英会話ⅡB		担当者名	G.McArdle		
学科	エアラインサービス科		授業方法	講義		
認定単位 開講学年	2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間	
授業目的	英語のリスニングやスピーキング、コミュニケーション力を高める。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	授業内での英語のリスニング、ネイティブスピーカーの講師や学生同士でのスピーキングの練習。 教科書のそれぞれのユニットの後の定期テスト。					
授業概要	コミュニケーションを中心にして、英会話を聞き取れたり、自分の言いたいことを話せるようになりたい学生のための授業。 アクティビティー、ゲーム、ロールプレイ、絵本等をおして、英語を基礎から学ぶ。 自分にあっているレベルで参加して、進むことができる。 また、さまざまな国籍の教員から、世界の出来事についての意見を聞き、文化や歴史の違いを感じることができる。					
授業計画表	授業内容			授業内容		
	1	discussion	19	Units 7/8 Lesson A		
	2	discussion	20	Units 7/8 Lesson B		
	3	discussion	21	Units 7/8 Lesson C		
	4	Units 1/2 Lesson A	22	Test 7/8		
	5	Units 1/2 Lesson B	23	Test 7/8		
	6	Units 1/2 Lesson C	24	Units 9/10 Lesson A		
	7	Test 1/2	25	Units 9/10 Lesson B		
	8	Test 1/2	26	Units 9/10 Lesson C		
	9	Units 3/4 Lesson A	27	Test 9/10		
	10	Units 3/4 Lesson B	28	Test 9/10		
	11	Units 3/4 Lesson C	29	Units 11/12 Lesson A		
	12	Test 3/4	30	Units 11/12 Lesson B		
	13	Test 3/4	31	Units 11/12 Lesson C		
	14	Units 5/6 Lesson A	32	Test 11/12		
	15	Units 5/6 Lesson B	33	Test 11/12		
	16	Units 5/6 Lesson C	34	discussion		
	17	Test 5/6	35	discussion		
18	Test 5/6	36	discussion			
成績割合	テスト	75%	学習FB方法	成績表送付		
	学習態度・出席率	25%				
	レポート	0%	成績評価	会話テスト: 3回x25点 授業参加: 25点		
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>0% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>80% G<<海外体感型学習>>80%					
講師プロフィール	英語を母国語とするネイティブスピーカー。					

シラバス

科目名	CA実習Ⅱ		担当者名	府川 文子	
学 科	エアラインサービス科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	航空会社で活躍するための4つの基礎力「人に寄り添う力」「まとめる力」「牽引する力」「接遇力」を養い、航空会社の社員に求められる基礎力の構築を目指す。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	良い第一印象や正しいマナーで人と接することが良好な対人関係構築に影響することを十分に理解させる。その上で、自らコミュニケーションを積極的に取っていきけるよう、授業では学生の主体性を尊重し、個々の個性を見極めながら自立の学びの援助をしていく。 カスタマーサービスの範囲である、人間関係を築く上で大切な4つの基礎力を学び、エアライン業界に適した人材の育成を図る。				
授業概要	様々な実習や座学を通し、美しい身だしなみや立ち振る舞い、また感じの良い話し方・聞き方のトレーニングを実践する。マナー全般の基礎を学び、コミュニケーションに活かせるレベルまで実践する。 座学(「CAになるための教科書(イカロス出版)」を使用)と実習を組み合わせ、CAに必要な基礎知識全般を身に付ける。				
授 業 計 画 表		授 業 内 容		授 業 内 容	
	1	授業概要説明(授業目的・授業内容・評価基準など)	19	CAにはサービス・保安の両面での業務があることを知る①	
	2	メラビアン法則、3秒ルール「いい第一印象」について知る。 お辞儀の仕方(3種類のお辞儀を実践する)を実践する。	20	緊急脱出について。	
	3	メラビアン法則をもとに、実際に自分の印象について客観的に知る。 (携帯での撮影/鏡を見ながらの実習など)。	21	CAにはサービス・保安の両面での業務があることを知る②	
	4	客観的に見た自分の印象をアップさせるための改善策について考える。	22	21回内容の実習。	
	5	表情&基本動作(立ち方、座り方、歩き方、発声の仕方など)と応用動作(指のさし方、物の受け渡し方、階段の降り方・昇り方など)。	23	CA面接で必要なことを知る。	
	6	正しい尊敬語・謙譲語・丁寧語について学ぶ。	24	面接の流れを体得する。	
	7	航空史と航空機概論。	25	振り返り①	
	8	飲み物サービス等シチュエーションを設定し、伝えたいことを即座に適切な敬語で伝えられるか実践する(M/U)。	26	振り返り②	
	9	CAの仕事について知る。	27	後期に向けて自分の強みと課題を認識する①	
	10	CAの仕事について知る。	28	後期に向けて自分の強みと課題を認識する②	
	11	CAの仕事について知る。	29	ビジネスマナー全般、コミュニケーションスキル全般の観点での練習およびフィードバック	
	12	CAの仕事について知る。	30	ビジネスマナー全般、コミュニケーションスキル全般の観点での練習およびフィードバック	
	13	ラポール形成について学ぶ(傾聴)。クッション言葉の重要性を知る。	31	ビジネスマナー全般、コミュニケーションスキル全般の観点での練習およびフィードバック	
	14	コミュニケーションに関する実習(飲み物サービス等)	32	ビジネスマナー全般、コミュニケーションスキル全般の観点での練習およびフィードバック	
	15	CAに求められる資質について知る。	33	1年の振り返り	
	16	15回座学内容の実習。	34	1年の振り返り	
	17	機内アナウンスのポイントについて知る。	35	1年の振り返り	
	18	17回内容の実習。	36	1年の振り返り	
成 績 割 合	テスト	出席率30%	学習FB方法	授業ごとにフィードバック	
	学習態度・出席率	授業態度30%			
	レポート	提出物20%中間・期末テスト20%	成績評価	出席率80%以上 S90点-100点 A80点-89点 B70点-79点 C60点-69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>80% R<<実働実践型学習>>100% A<<主体的参加型学習>>100% G<<海外体感型学習>>50%				
講師プロフィール	新卒で大手国内航空会社の国際線客室乗務員として入社。勤続25年。 在職中に培った乗務経験・デスク勤務経験等を活かし、退職後は他専門学校エアライン科での講師経験や企業へのマナー講師経験あり。				

シラバス

科目名	GS実習Ⅱ		担当者名	林 美加	
学 科	エアラインサービス科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	自己理解を深め、即戦力を強みとして実践ですぐに役にたつ知識を身につけ、企業から欲しいと思われる人財を育てていく。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	GSとしての実践力を高めるために前年度の学びをロールプレイや実習を通して対応応力を身につける				
授業概要	前年度の学びを更に深める 出発・到着業務の対応力を身につける 実務で使う基礎知識				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	オリエンテーション	19	GS業務基礎 2IRRG対応 出発業務におけるIRRG	
	2	目標設定	20	GS業務基礎2IRRG対応 出発におけるIRRG	
	3	前年度の振り返り	21	GS業務基礎2IRRG対応 出発におけるIRRG	
	4	出発業務基礎1の振り返り	22	GS業務基礎2IRRG対応 出発におけるIRRG	
	5	出発業務基礎2実習1 CKIN業務	23	GS業務基礎2IRRG対応 出発におけるIRRG	
	6	出発業務基礎2実習2 CKIN業務	24	GS業務基礎2クレーム対応復習	
	7	出発業務基礎2実習3 CKIN業務	25	GS業務基礎2実習10 IRRG時のお客様対応	
	8	航空会社基礎2略語・2レター・3レター	26	GS業務基礎2実習11 IRRG時のお客様対応	
	9	GS業務基礎1実習4 CKIN業務	27	GS業務基礎2実習12 お客様対応・ロールプレイ	
	10	到着業務基礎2到着業務 振り返り	28	入社に向けた心得	
	11	到着業務基礎2実習5 到着業務・手荷物事故	29	入社に向けた心得OJTについて	
	12	到着業務基礎2実習6 到着業務・手荷物事故	30	後期振り返り	
	13	到着業務基礎2到着業務振り返り	31	後期テスト	
	14	前期テスト	32	1年間のまとめ	
	15	到着業務基礎2実習7 到着業務・手荷物事故	33		
	16	到着業務基礎2実習8 到着業務・手荷物事故	34		
	17	GS業務基礎2実習9 アナウンス練習	35		
	18	GS業務基礎2IRRG対応 出発業務におけるIRRG	36		
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	レポート・個別口頭F/B 小テスト	
	学習態度・出席率	10%			
	レポート	30%	成績評価	定期試験60% 出席率10% 取り組み姿勢30%	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>80% R<<実働実践型学習>>80% A<<主体的参加型学習>>80% G<<海外体感型学習>>70%				
講師プロフィール	<p>林美加 千葉県出身 JALスカイで約30年、空港の現場でグランドスタッフとして、そして管理職として、CS向上・マネジメント・人材育成・採用面接官として従事。 大切にしていることは『個の価値や可能性・才能・存在感』といった『個人の力』と、そして、何より、人それぞれが持つ『思い』です。人の思いが動く時、人生も組織も大きく動きます。人を信じ、人を育て、心でつながるコミュニケーションを心がけています。</p> <p>羽田空港国際線の立ち上げ 中国虹桥空港支店の新規拠点設立 顧客満足ランキング 43位から1年半で3位に改善</p>				

シラバス

科目名	セルフブランディングⅡ		担当者名	松井 佳子	
学 科	エアラインサービス科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	前期 必選	授業時間数	72時間
授業目的	身だしなみ、立ち居振る舞い、着こなしをマスターし、航空業界での振る舞いを理解する				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	社会人としてはもとより、航空業界で必要なマナーを身に付ける				
授業概要	TPOにあった身だしなみ、言葉遣い、立ち居振る舞いをマスターする。合わせて日本文化の担い手として精神性を高める。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	自己紹介 成績のつけ方 目標設定	19		
	2	身だしなみ 立ち方 挨拶 お辞儀	20		
	3	メイク 立ち方 挨拶 お辞儀	21		
	4	髪の毛まとめ方 walking の基礎	22		
	5	笑顔 座り方 物の渡し方 walking	23		
	6	敬語 walking	24		
	7	クッション言葉 思いやりのある言葉 walking	25		
	8	様々な状況を想定してのロールプレイ	26		
	9	食事のマナー 席次 walking	27		
	10	面接を想定しての動き	28		
	11	褒めあいトーク	29		
	12	自分の好きなところを100個書き出す	30		
	13	前期学んだことを総復習する	31		
	14		32		
	15	茶道	33		
	16	最初の授業との比較 今後の目標設定	34		
	17		35		
18		36			
成績割合	テスト	30点	学習FB方法	成績表 毎回の授業でのコメント	
	学習態度・出席率	50点			
	レポート	20点	成績評価	S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>80% R<<実働実践型学習>>80% A<<主体的参加型学習>>80% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	日本航空 国際客室乗員部 7年勤務 本校講師として18年 (美育、英語担当)				

シラバス

科目名	エアライン・マネジメントⅡ		担当者名	藤田 知生		
学 科	エアラインサービス科		授業方法	講義		
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	72時間	
授業目的	航空業界今を知り、世界情勢に左右されやすい業界の理解を深める					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	航空業界とはを知り、業界を探究する事を目標とする					
授業概要	航空業界の歴史を紐解き、時事ネタを常に理解することにより、現在の業界の現状を把握、これからの航空業界の変化を理解する					
授業計画表	授業内容			授業内容		
	1	オリエンテーション	19	課題		
	2	課題	20	前期の振り返り、後期に向けて		
	3	航空産業概論	21	課題		
	4	課題	22	日本航空研究		
	5	世界のエアライン事情	23	課題		
	6	課題	24	全日本空輸研究		
	7	地政学と航空産業	25	課題		
	8	課題	26	航空会社の営業とは？		
	9	ちょっとマニアックな講話	27	課題		
	10	課題	28	みなさんが航空会社に期待すること		
	11	運送業？サービス業	29	課題		
	12	課題	30	航空業界の未来		
	13	航空産業における安全とは	31	課題		
	14	課題	32	フリーディスカッション		
	15	フリーディスカッション	33	課題		
	16	前期試験	34	後期試験		
	17	課題	35	後期試験の見直し		
18	なぜ？好奇心を持つ	36	1年間の振り返り			
成績割合	テスト	20	学習FB方法	授業、課題提出を踏まえて、前後期の成績判定		
	学習態度・出席率	30				
	レポート	50	成績評価			
	合計	100%				S:90-100点、A:80-89点、B:70-79点、C:60-69点、D:59点以下不合格
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30 R<<実働実践型学習>>30 A<<主体的参加型学習>>40 G<<海外体感型学習>>					
講師プロフィール	H.I.S.に入社後、日本航空にて21年間勤務後、現在はツアーリストインターナショナルアシスタンスサービスにて勤務。					

シラバス

科目名	基礎英語Ⅱ		担当者名	鈴木良	
学科	エアラインサービス科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間
授業目的	TOEIC Part 5, Part 6 の文法問題を解く上で必要な英文法を習得する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	TOEIC Part 5, Part 6 における文法問題を理解し解けるようにする。 TOEIC 基本ボキャブラリー 400 を身につける。				
授業概要	英文法に関するドリル、練習問題、アクティビティーを行う。TOEIC に必要な単語小テストも行う。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	Memory game、可算名詞・不可算名詞	19	ボキャブラリー小テスト 3.2、動詞問題	
	2	名詞、形容詞・副詞、ボキャブラリー 1.1 イントロ	20	ボキャブラリー小テスト 3.3、動詞問題	
	3	ボキャブラリー小テスト 1.1、文型①	21	ボキャブラリー小テスト 3.4、動詞問題・人称代名詞問題	
	4	ボキャブラリー小テスト 1.2、文型②	22	ボキャブラリーまとめ小テスト 3.1-3.4、動詞問題・人称代名詞問題	
	5	ボキャブラリー小テスト 1.3、文型③	23	ボキャブラリー小テスト 4.1、準動詞問題	
	6	ボキャブラリー小テスト 1.4、形容詞・副詞	24	ボキャブラリー小テスト 4.2、準動詞問題	
	7	ボキャブラリーまとめ小テスト 1.1-1.4、文型④	25	ボキャブラリー小テスト 4.3、準動詞問題	
	8	ボキャブラリー小テスト 2.1、品詞当てクイズ	26	ボキャブラリー小テスト 4.4、準動詞問題・不定代名詞と数量を表す代名詞	
	9	ボキャブラリー小テスト 2.2、品詞当てクイズ	27	ボキャブラリーまとめ小テスト 4.1-4.4、準動詞問題・不定代名詞と数量を表す代名詞	
	10	接尾辞小テスト①、品詞問題・前置詞問題・接続詞問題	28	接尾辞小テスト②、準動詞問題・不定代名詞と数量を表す代名詞	
	11	ボキャブラリー小テスト 2.2、品詞問題・前置詞問題・接続詞問題(前期 TOEIC テスト本番)	29	比較問題	
	12	ボキャブラリー小テスト 2.4、品詞問題・前置詞問題・接続詞問題	30	比較問題	
	13	期末試験対策	31	接尾辞小テスト③、比較問題(後期 TOEIC テスト本番)	
	14	前期末試験	32	期末試験対策	
	15	ボキャブラリーまとめ小テスト 2.1-2.4、動詞問題	33	まとめ	
	16	ボキャブラリー小テスト 3.1、動詞問題	34	まとめ	
	17	まとめ	35	後期期末試験	
18	まとめ	36	試験返却		
成績割合	テスト	30%(学期末)、40%(ボキャブラリー小テスト)	学習FB方法	口頭	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	0%	成績評価	小テスト、定期試験(前期・後期)、平常点	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>60% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>60% G<<海外体感型学習>>100%				
講師プロフィール	TOEIC Listening & Reading テスト スコア990点取得、英検1級、中学校・高等学校教員免許(英語)取得				

シラバス

科目名	メンタルマネジメント		担当者名	林 美加	
学 科	エアラインサービス科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開 講 期 必・選	必選	授 業 時 間 数	72時間
授業目的	自己理解を深め、セルフマネジメントできるように育てる				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	自己理解とメンタルマネジメントの知識を深めることで、考え方・捉え方のマインドセットをする事で内面を整え、困難なときに乗り越えられるセルフマネジメントを身につける。				
授業概要	ストレスマネジメント 潜在意識の知識と活用 思考力・考え方・捉え方を多角的・柔軟性を持つ ネガティブな感情との付き合い方 ストレスフリーなコミュニケーション				
授業計画表	授業内容		授業内容		
	1	オリエンテーション	19	マインドセット7つの習慣から	
	2	目標設定	20	マインドセット7つの習慣から	
	3	ストレスマネジメントストレスとは？	21	マインドセット2自己愛・自己肯定	
	4	ストレスマネジメントストレスサインの種類と特徴	22	マインドセット2人としてのあり方	
	5	ストレスマネジメントストレスに気づく	23	マインドセット3思考・考え方・捉え方	
	6	ストレスマネジメント仲間のサインと承認メッセージ	24	マインドセット4ネガティブな感情との付き合い方	
	7	ストレスマネジメント適応障害の正しい知識	25	マインドセット4ネガティブな感情との付き合い方	
	8	ストレスマネジメントうつ病の正しい知識	26	マインドセット5セルフイメージ	
	9	ストレスマネジメントうつ病の正しい関わり方	27	マインドセット6ストレスフリーなコミュニケーション	
	10	ストレスマネジメントうつ病の正しい関わり方	28	マインドセット6ストレスフリーなコミュニケーション	
	11	ストレスマネジメントセルフコントロール	29	1年間の振り返り	
	12	ストレスマネジメントセルフコントロール	30	後期振り返り	
	13	前期まとめ	31	後期テスト	
	14	前期テスト	32	1年間の振り返り	
	15	マインドセット潜在意識の基礎知識と活用	33		
	16	マインドセット7つの習慣から	34		
	17	マインドセット7つの習慣から	35		
18	マインドセット7つの習慣から	36			
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	レポート・個別口頭F/B 小テスト	
	学習態度・出席率	10%			
	レポート	30%	成績評価	定期試験60% 出席率10% 取り組み姿勢30%	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>80% R<<実働実践型学習>>80% A<<主体的参加型学習>>80% G<<海外体感型学習>>70%				
講師プロフィール	林美加 千葉県出身 JALスカイで約30年、空港の現場でグランドスタッフとして、そして管理職として、CS向上・マネジメント・人材育成・採用面接官として従事。 大切にしていることは『個の価値や可能性・才能・存在感』といった『個人の力』と、そして、何より、人それぞれが持つ『想い』です。人の想いが動く時、人生も組織も大きく動きます。人を信じ、人を育て、心でつながるコミュニケーションを心がけています。				

シラバス

科目名	エアラインEnglish II		担当者名	岡崎 志織		
学 科	エアラインサービス科		授業方法	講義		
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	36時間	
授業目的	航空業界で使う英語の基礎を学ぶ					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	航空業界で使う英語の基礎を学び、実際に使われている会話をロールプレイを交えながら取得					
授業概要	必要な場面で使う英語を理解し、ロールプレイをすることにより、よりスムーズに英語を使えるようにする					
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容		
	1	オリエンテーション	19	Unit 5 Climb & Cruise		
	2	Communication in the Cabin 1Unit 9 Emergency	20	Unit 5 Climb & Cruise		
	3	Communication in the Cabin 1Unit 9 Emergency	21	Unit 5 Climb & Cruise		
	4	Communication in the Cabin 1Unit 9 Emergency	22	Unit 6 Meal & Drink Service		
	5	Communication in the Cabin 2Unit 1Airline & Flight Crew	23	Unit 6 Meal & Drink Service		
	6	Unit 1Airline & Flight Crew	24	Unit 6 Meal & Drink Service		
	7	Unit 1Airline & Flight Crew	25	Unit7 Medical Problems		
	8	Unit 2 Pre-Fight Briefing	26	Unit7 Medical Problems		
	9	Unit 2 Pre-Fight Briefing	27	Unit 8 In-Flight Emergency		
	10	Unit 2 Pre-Fight Briefing	28	Unit 8 In-Flight Emergency		
	11	Unit 3 Boarding	29	Unit 9 Descent & Final approach		
	12	Unit 3 Boarding	30	Unit 9 Descent & Final approach		
	13	Unit 3 Boarding	31	Unit 10 Landing & Disembarkation		
	14	Unit 4 Take-Off	32	unit 10 Landing & Disembarkation		
	15	前期末試験対策、復習	33	Communicate in the Airport 各Unit より抜粋		
	16	前期末試験	34	Communicate in the Airport 各Unit より抜粋		
	17	Unit 4 Take-Off	35	学年末試験		
18	Unit 4 Take-Off	36	試験返却、解説、総まとめ			
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	各Unit 終了時にフィードバックを行う		
	学習態度・出席率	30%				
	レポート	レポート、小テスト 10%	成績評価	S、A、B、C、D		
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>ディスカッションによる問題解決 R<実働実践型学習>ロールプレイによる航空業界の接客会話練習、業界用語、Airline Alphabetの学習、Airline業務の復習の学習 A<主体的参加型学習>事前学習することにより授業への積極的参加を促す G<海外体験型学習>ロールプレイによる実践的会話練習TA参加による実践的授業					
講師プロフィール	大学卒業後、日本航空 国際線に7年間勤務 在米6年 在独2年 カリフォルニア大学にてTESL(英語教員免許)取得 日米の教員免許所有 日本語教師資格所有 国際線CAとしての経験、また長い海外生活で得た、グローバルな視点からのホスピタリティーに満ちた実践的なエアライン英語の授業を心がけています。					

シラバス

科目名	アマデウス実習Ⅱ		担当者名	小泉 公仁子		
学科	エアラインサービス科		授業方法	実習		
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	必選	授業時間数	72時間	
授業目的	1年時に習得した「アマデウスシステム」の基本操作や基礎知識に航空運賃・発券など、より専門性の高い項目を加える。リスニング、ロールプレイなどを取り入れて航空・旅行業界での実務に即対応できる能力を身に付ける。リアルタイムなニュースを取り上げて業界の現状に興味を持たせ就職後につなげる。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	予約システム「アマデウス」を使ってより高度な予約操作を習得し、航空・旅行業界での実務に必要な知識を学習する。 2年間の集大成としてアマデウスシステム検定 (Amadeus Reservation and Ticketing Fundamentals) の合格を目指す。					
授業概要	「アマデウス」トレーニングモードでの実習。テキスト、練習問題を使ってより専門的な操作、幅広い知識を習得し、リスニングやロールプレイなどによって各自が実践可能な技能を身に付ける。Amadeus Reservation and Ticketing 検定の合格を目標に対策授業を行う。					
授業計画表	授業内容			授業内容		
	1	都市/空港(名・コード・国・位置・TC) 世界地図	19	運賃② PNRからの運賃計算		
	2	エアライン(名・コード・国) アライアンス LCCとFSC	20	運賃③ 発券		
	3	ダイレクトアクセス アクセスレベル AIS(HE GG) キャンセル待ち ステータスコ	21	運賃④ VOID セールスレポート 予約→発券→搭乗の流れ		
	4	PNR取出し 完了 中断 変更 ヒストリー キュー(キャンセル待ち、TL)	22	検定準備		
	5	フライトインフォメーション(経由便) 時差 MCT 地図 (TC1)	23	検定準備		
	6	空席照会応用	24	アマデウス検定		
	7	2区間の空席照会・予約 地図 (TC2)	25	PNRの分割		
	8	旅客氏名応用(同姓の一括入力、INS) 業界用語・略語 OSI RMKS	26	ホテル予約		
	9	SSR応用① BSCT WCHR プライオリティゲスト UCMR	27	国内線基礎知識 グラフィック入力		
	10	SSR応用② APIS その他のSSRコード 地図 (TC3)	28	後期末試験準備		
	11	SSR応用③ フリーイベントフライヤー マイレージサービス シートリクエスト 手荷	29	後期末試験		
	12	アマデウス検定(Reservation Fundamentals) 復習	30	試験返却・ロールプレイ		
	13	リスニング ロールプレイ	31			
	14	前期期末試験対策	32			
	15	前期期末試験	33			
	16	試験返却・解説	34			
	17	運賃導入 基礎知識 関連用語	35			
18	運賃① 運賃表 運賃ルールの見方	36				
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	前期・後期試験実施後。試験返却をもって		
	学習態度・出席率	40%				
	レポート	10%	成績評価			
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>10%					
講師プロフィール	(株)日本航空にて予約、発券業務 (株)アクセス国際ネットワークにて学校教育担当講師					

シラバス

科目名	キャリア開発 I		担当者名	葛原 加奈子、宮鍋 涼、沼田 かな子、井上 一輝、山本 友梨香、野上 伴睦	
学科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	36時間
授業目的	卒後VISIONに磨きをかけ、解像度を上げる。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	授業開始時の卒後VISIONの評価と授業終了時の卒後VISIONの評価を比較し評価がランクアップしていること。				
授業概要	未来デザインをケーススタディする。 好奇心から社会変化を探究し、自分未来を事例探究する。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	オリエンテーション	
	2	オリエンテーション	20	企業人講話	
	3	卒後VISIONとは	21	企業人講話	
	4	働くこととは	22	ガクチカ分析	
	5	卒業生講話	23	ガクチカ分析	
	6	卒業生講話	24	起業家講話	
	7	卒後VISION書き直し	25	起業家講話	
	8	グローバル(IW6/9-20)	26	卒後VISION書き直し	
	9	グローバル(IW6/9-20)	27	特別講座準備	
	10	働き方について(キャリアの選択肢)	28	特別講座準備	
	11	就活キックオフ・(履歴書提出)	29	最終報告会	
	12	卒後VISION(コンテスト7/25/26)	30	最終報告会	
	13	企業人講話	31	1年振り返り	
	14	企業人講話	32	1年振り返り	
	15	卒後VISION書き直し	33	金曜日のみ)インターンシップについて	
	16	中間報告会	34	金曜日のみ)インターンシップについて	
	17	水曜日のみ)インターンシップについて	35	まとめ	
18	水曜日のみ)インターンシップについて	36	まとめ		
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	提出された卒後VISIONと各課題への評価	
	学習態度・出席率	30%(授業態度と課題の提出)			
	レポート	70%(卒後VISIONの提出)	成績評価	S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点 以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	キャリアセンタースタッフが授業をコーディネートし、授業内容に合わせた外部講師を招聘する。				

シラバス

科目名	日本語演習 I (N1)		担当者名	楊 陽、岡崎 志織	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	72時間
授業目的	授業に必要とされる日本語の知識や理解力、会話力を深め、N1試験合格を目指す。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	12月に行われるJLPT N1の合格を目指す。				
授業概要	教科書に従って授業を展開し、文法、漢字、意味、慣用句、オノマトペ、読解、会話等、授業に必要とされる日本語の知識や理解力を深め、JLPT N1レベルの学習者としてふさわしい日本語力を身につける。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	プレースメントテスト	19	日本語の読解及び文法17	
	2	オリエンテーション、日本語の読解及び文法1	20	日本語の読解及び文法18	
	3	日本語の読解及び文法2	21	日本語の読解及び文法 19	
	4	日本語の読解及び文法3	22	日本語の読解及び文法 20	
	5	日本語の読解及び文法4	23	日本語の読解及び文法 21	
	6	日本語の読解及び文法5	24	日本語の読解及び文法 22	
	7	日本語の読解及び文法6	25	日本語の読解及び文法23	
	8	日本語の読解及び文法7	26	日本語の読解及び文法24	
	9	日本語の読解及び文法8	27	日本語の読解及び文法25	
	10	日本語の読解及び文法9	28	日本語の読解及び文法26	
	11	日本語の読解及び文法10	29	日本語の読解及び文法27	
	12	日本語の読解及び文法11	30	日本語の読解及び文法28	
	13	日本語の読解及び文法12	31	日本語の読解及び文法 29	
	14	前期末試験	32	日本語の読解及び文法 30	
	15	日本語の読解及び文法13	33	日本語の読解及び文法 31	
	16	日本語の読解及び文法14	34	日本語の読解及び文法 32	
	17	日本語の読解及び文法15	35	学年末試験	
18	日本語の読解及び文法16	36	試験返却、解説		
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	定期的なまとめテストにてフィードバック	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	小テスト10%	成績評価	出席率80%以上 S=100～90点、A=89～80点、B=79～70点、C=69～60点、D=59	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>100% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>0% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	大学卒業後、日本航空 国際線に7年間勤務 在米6年 在独2年 日本語教師資格所有 米カリフォルニア大学にて英語教員免許 (TESL) 取得 日米の教員免許を所有 長い海外経験から、外国人留学生の立場に立ったわかりやすい日本語の授業を心がけています。				

シラバス

科目名	日本語演習 I (N2)		担当者名	楊 陽、岡崎 志織	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	72時間
授業目的	授業に必要とされる日本語の知識や理解力、会話力を深め、N2 試験合格を目指す。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	12月に行われるJLPT N2の合格を目指す。				
授業概要	教科書に従って授業を展開し、文法、漢字、意味、慣用句、オノマトペ、読解、会話等、授業に必要とされる日本語の知識や理解力を深め、JLPT N2レベルの学習者としてふさわしい日本語力を身につける。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	プレースメントテスト	19	日本語の読解及び文法16	
	2	オリエンテーション/日本語の読解及び文法1	20	日本語の読解及び文法17	
	3	日本語の読解及び文法 1	21	日本語の読解及び文法18	
	4	日本語の読解及び文法 2	22	日本語の読解及び文法19	
	5	日本語の読解及び文法 3	23	日本語の読解及び文法 20	
	6	日本語の読解及び文法 4	24	日本語の読解及び文法 21	
	7	日本語の読解及び文法 5	25	日本語の読解及び文法 22	
	8	日本語の読解及び文法 6	26	日本語の読解及び文法 23	
	9	日本語の読解及び文法 7	27	日本語の読解及び文法24	
	10	日本語の読解及び文法 8	28	日本語の読解及び文法25	
	11	日本語の読解及び文法 9	29	日本語の読解及び文法26	
	12	日本語の読解及び文法 10	30	日本語の読解及び文法27	
	13	日本語の読解及び文法 11	31	日本語の読解及び文法28	
	14	前期末試験	32	日本語の読解及び文法29	
	15	日本語の読解及び文法12	33	日本語の読解及び文法 30	
	16	日本語の読解及び文法13	34	日本語の読解及び文法 31	
	17	日本語の読解及び文法14	35	学年末試験	
18	日本語の読解及び文法15	36	試験返却、解説		
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	まとめテストの後にフィードバック	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	小テスト10%	成績評価	出席率80%以上 S=100～90点、A=89～80点、B=79～70点、C=69～60点、D=59	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>100% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>0% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	大学卒業後、日本航空 国際線に7年間勤務 在米6年 在独2年 日本語教師資格所有、米カリフォルニア大学にて英語教員免許【TESL】取得、日米の教員免許所有 長い海外経験から外国人留学生の立場に立った、わかりやすい日本語の授業を心がけています。				

シラバス

科目名	大学支援 総合 I		担当者名	榎村 麻里子	
学科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	72時間
授業目的	産業能率大学の履修科目を併修するためのサポート講義				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	産業能率大学の1年次履修科目について理解を深める				
授業概要	産業能率大学で1年次に履修する科目の重要ポイントを学習し、レポート・科目習得試験に向けての準備を行う				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	ガイダンス	19	企画力を強化する	
	2	ガイダンス	20	考える力をつける	
	3	社会人の常識とマナー	21	考える力をつける	
	4	社会人の常識とマナー	22	考える力をつける	
	5	社会人の常識とマナー	23	考える力をつける	
	6	ビジネス文書&メールの書き方	24	考える力をつける	
	7	ビジネス文書&メールの書き方	25	コミュニケーション論	
	8	ビジネス文書&メールの書き方	26	コミュニケーション論	
	9	ビジネス文書&メールの書き方	27	コミュニケーション論	
	10	情報分析力を鍛える	28	コミュニケーション論	
	11	情報分析力を鍛える	29	コミュニケーション論	
	12	情報分析力を鍛える	30	自由が丘とブランディング	
	13	情報分析力を鍛える	31	自由が丘とブランディング	
	14	情報分析力を鍛える	32	自由が丘とブランディング	
	15	企画力を強化する	33	自由が丘とブランディング	
	16	企画力を強化する	34		
	17	企画力を強化する	35		
18	企画力を強化する	36			
成績割合	テスト	30%	学習FB方法	前期末試験および後期末試験の評価結果をそれぞれ学生にFBする	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	20%	成績評価	前期末試験、後期末試験の評価点の平均値を年度末の評価点とする。テクノスで定めた相対評価により評価点の補正を行う。	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	コンピュータ会社勤務を経て、大学・短大・専門学校で非常勤講師を務めている。 現在まで10年間産業能率大学の通学、通信講座で非常勤講師を兼任している。 産業能率大学では、マーケティング、マネジメント領域の科目を7科目担当し、スクーリング、対面、レポート添削を行っている。				

シラバス

科目名	大学支援 総合 I		担当者名	吉田 緑	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	72時間
授業目的	本科目は中央大学法学部通信教育課程の編入を目指す学生等に課せられたレポート課題対策および法律学習の支援を目的とする。対象科目は憲法、民法(債権総論、債権各論)、刑法(総論)である。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	①レポートを提出し、実際に合格させること ②法律学習に限らず「自分のことば」を用いて文章で説明できるようにすることを目標とする。				
授業概要	①法律を学ぶにあたって必要な思考方法、②教科書を含む文献や裁判例の読み方、③リサーチ方法、④レポートを書く際の作法、⑤レポートの題意の読み解き方等を学ぶ。 スクーリングや試験、受講者の希望に合わせて授業内容が変わる場合もある。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	オリエンテーション	19	民法:債権(総論・各論)基礎編	
	2	オリエンテーション	20	民法(債権総論):第1課題	
	3	オリエンテーション	21	民法(債権総論):第2課題	
	4	法律学習の基礎:①法体系②条文の読み方③教科書・基本書の読み方	22	民法(債権各論):第1課題	
	5	法律学習の基礎:①法体系②条文の読み方③教科書・基本書の読み方	23	民法(債権各論):第2課題	
	6	法律学習の基礎:①法体系②条文の読み方③教科書・基本書の読み方	24	憲法:基礎編	
	7	法律学習の基礎:①法体系②条文の読み方③教科書・基本書の読み方	25	憲法:基礎編	
	8	レポートの書き方	26	憲法:第1課題	
	9	レポートの書き方	27	憲法:第2課題	
	10	刑法:基礎編	28	残りの課題	
	11	刑法:基礎編	29	残りの課題	
	12	刑法:基礎編	30	2年次に向けて一刑法各論・民法(総則・物権・親族法)ほかー	
	13	刑法:基礎編	31	2年次に向けて一刑法各論・民法(総則・物権・親族法)ほかー	
	14	刑法(総論):第1課題	32	2年次に向けて一刑法各論・民法(総則・物権・親族法)ほかー	
	15	刑法(総論):第2課題	33	2年次に向けて一刑法各論・民法(総則・物権・親族法)ほかー	
	16	民法:基礎編	34	まとめ	
	17	民法:基礎編	35	まとめ	
18	民法:債権(総論・各論)基礎編	36	まとめ		
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	80%			
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89点 B70~79点	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>100% R<<実働実践型学習>>10% A<<主体的参加型学習>>60% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	他大学他学部より中央大学法学部通信教育課程に2年次編入し、同課程卒業。中央大学通信教育部インストラクター。専門は刑事政策・犯罪学。他専門学校・大学等でも講師(憲法、刑事政策、犯罪学等)を務める。元インターネットニュースメディア記者でもある。				

シラバス

科目名	大学支援 総合 I		担当者名	高木 佳子	
学科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	72時間
授業目的	国文学の専門知識の習得とともに、各科目の単位修得におけるレポート作成の技術の習得も目指していく。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	古代から近代に至る日本文学の各ジャンルにおける専門的知識と課題を把握し、日本大学の各科目試験の単位修得に必要な知識を身につけていく。				
授業概要	日本大学における「国文学基礎講義」、「国文学概論」、「国文学講義(上代)」の3教科の単位修得に必要な、各科目ごとの2つのレポート提出について、提出期限を把握し、科目修得試験に向けて、計画的に進めていく。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	授業オリエンテーション 1年次履修科目について 履修科目のレポート課題提出について	19	『国文学概論』 課題1 レポート作成に向けて	
	2	授業オリエンテーション 履修科目の試験、および過去問について	20	『国文学概論』 課題1 レポート作成	
	3	授業オリエンテーション 国文学科目概要・講義概説	21	『国文学概論』 古代歌謡とは	
	4	『国文学基礎講義』レポート課題概説 レポート作成に向けて	22	『国文学概論』 歌謡と和歌	
	5	『国文学基礎講義』万葉集	23	『国文学概論』 口誦歌謡と記載和歌	
	6	『国文学基礎講義』『万葉集』について	24	『国文学概論』 課題2 レポート作成に向けて	
	7	『国文学基礎講義』『万葉集』の四季の歌	25	『国文学概論』 課題2 レポート作成	
	8	『国文学基礎講義』『万葉集』日本的な自然観	26	『国文学講義』I(上代) 『万葉集』について	
	9	『国文学基礎講義』課題1 レポート作成に向けて	27	『万葉集』の宴席歌について	
	10	『国文学基礎講義』課題1 レポート作成	28	『万葉集』巻八(1581～1591)の宴席歌群について	
	11	『国文学基礎講義』歌謡とは	29	『万葉集』巻八の宴席歌群(1581～1591)の内容および構成について	
	12	『国文学基礎講義』記紀歌謡	30	『国文学講義』I(上代) レポート課題1の作成	
	13	『国文学基礎講義』『古事記』における歌謡	31	『万葉集』 大伴坂上郎女の歌	
	14	『国文学基礎講義』『日本書紀』における歌謡	32	『万葉集』 テキスト以外に見える大伴坂上郎女の歌の内容、特徴	
	15	『国文学基礎講義』 課題2 レポート作成に向けて	33	『国文学講義』I(上代) レポート課題2の作成	
	16	『国文学基礎講義』 課題2 レポート作成	34	『国文学講義』I(上代) レポート課題の提出に向けて	
	17	『国文学概論』『古事記』における古記録 「序文」	35	授業まとめ／振り返り	
	18	『国文学概論』『古事記』 大和朝廷における政治的支配および時代背景	36	授業まとめ／振り返り	
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	前期・後期 答案返却	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	30%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点、A80～89点、B70～79点、C60～69点、D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>30% R<実働実践型学習>30% A<主体的参加型学習>30% G<海外体感型学習>10%				
講師プロフィール	元昭和女子大学准教授(日本古典文学 和歌文学)				

シラバス

科目名	一般常識 I		担当者名	松木 芳文	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	36時間
授業目的	社会で必須となる一般常識を、数学・国語・社会の面からスキルアップする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	数学 高校数学までの単元の中で、社会人として生活するに当たり必要と思われる知識と論理的思考能力を養う。 国語 コミュニケーションに欠かせない国語の基本的な知識や教養を習得する。 社会 社会生活に必要な地歴公民の基本的な知識や教養を習得する。				
授業概要	数学 必要不可欠な知識を盛り込んだオリジナルテキストを使用し、数学の苦手意識を解消してゆく。 国語 漢字の読み書きを基本として、慣用句、ことわざや敬語の習得と世界文学や日本文学常識を身に着ける。 社会 日本地理・世界地理、日本史・世界史、思想・文化など広い範囲の知識・教養を幅広く身に着ける。				
授 業 計 画 表	授業内容			授業内容	
	1	数学1 「一般常識 数学」オリエンテーション	19	国語・社会1 「一般常識 国語・社会」オリエンテーション	
	2	数学2 数の計算	20	国語・社会2 漢字一字の読み	
	3	数学3 式の計算	21	国語・社会3 二字熟語の読み	
	4	数学4 因数分解	22	国語・社会4 慣用語の読み	
	5	数学5 平方根	23	国語・社会5 常用漢字外の読み	
	6	数学6 1次方程式	24	国語・社会6 漢字一字の書き取り	
	7	数学7 連立方程式	25	国語・社会7 二字熟語の書き取り	
	8	数学8 2次方程式	26	国語・社会8 同訓異字の書き取り	
	9	数学9 不等式	27	国語・社会9 同音異義語の書き取り	
	10	数学10 前期成績判定テスト1	28	国語・社会10 対義語・類義語の書き取り	
	11	数学11 数と量の文章問題1	29	国語・社会11 世界史	
	12	数学12 数と量の文章問題2	30	国語・社会12 日本史	
	13	数学13 割合の文章問題1	31	国語・社会13 思想・社会・文化	
	14	数学14 割合の文章問題2	32	国語・社会14 成績判定テスト	
	15	数学15 速さの文章問題	33	総復習①	
	16	数学16 前期成績判定テスト	34	総復習②	
	17	数学17 規則性などの文章問題	35	総復習③	
	18	数学18 まとめ	36	まとめ	
成績割合	テスト	80%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	20%			
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89点 B70～79点	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>100% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>100% G<<海外体感型学習>>30%				
講師プロフィール	慶応義塾大学経済学部。大手金融機関で金融全般のアドバイザー業務の傍ら、海外での銀行設立業務にも参画する。他、数学、英語、国語、社会の講師を勤める。				

シラバス

科目名	キャリア開発Ⅱ		担当者名	葛原 加奈子、宮鍋 涼、沼田 かな子、山本 友梨香、野上 伴睦、井上 一輝	
学科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	36時間
授業目的	卒後VISIONに磨きをかけ解像度を上げる。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	授業開始時の卒後VISIONの評価と授業終了時の卒後VISIONの評価を比較し、評価がランクアップをしていること。				
授業概要	学修&就活成果を最大化。卒後visionに基づく学修&就活PDCAを実践学習。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	オリエンテーション	
	2	自分らしさの軸を確認	20	改善計画の立案	
	3	業界・仕事の変化を探究	21	課題の体系化・仮説と検証	
	4	卒後VISIONを描き直す	22	学修機会の活用(テクノス祭)	
	5	社会人基礎力特別講座	23	(テクノス祭)	
	6	PDCAサイクルとは	24	計画の実行度を評価	
	7	学修目標と就活目標の設定	25	目標に対する改善計画	
	8	目標に対する計画立案	26	課題の体系化・仮説と検証	
	9	学修機会の活用(IW)	27	就活(インターンシップ)	
	10	計画の実行度を評価	28	就活(インターンシップ)	
	11	目標に対する改善計画	29	12月キャリア支援プログラム	
	12	就活(インターンシップ)	30	12月キャリア支援プログラム	
	13	社会人基礎力特別講座	31	最終報告	
	14	7月キャリア支援プログラム	32	最終報告	
	15	前期の学修と就活の振り返り	33	最終報告	
	16	中間報告会	34	卒後VISION提出	
	17	中間報告会	35	2月キャリア支援プログラム	
18	中間報告会	36	2月キャリア支援プログラム		
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付 提出された卒後VISIONと各課題への評価。就活状況モニタリング。	
	学習態度・出席率	30%(課題の提出と就活モニタリング)			
	レポート	70%(卒後VISIONの提出)	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89点 B70~79点	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	キャリアセンタースタッフが授業をコーディネートし、授業内容に合わせた外部講師を招聘する。				

シラバス

科目名	一般常識Ⅱ		担当者名	松木 芳文	
学科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	36時間
授業目的	社会で必須となる一般常識を、数学・国語・社会の面からスキルアップする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	数学 高校数学までの単元の中で、社会人として生活するに当たり必要と思われる知識と論理的思考能力を養う。 国語 コミュニケーションに欠かせない国語の基本的な知識や教養を習得する。 社会 社会生活に必要な地歴公民の基本的な知識や教養を習得する。				
授業概要	数学 必要不可欠な知識を盛り込んだオリジナルテキストを使用し、数学の苦手意識を解消してゆく。 国語 漢字の読み書きを基本として、慣用句、ことわざや敬語の習得と世界文学や日本文学常識を身に着ける。 社会 日本地理・世界地理、日本史・世界史、思想・文化など広い範囲の知識・教養を幅広く身に着ける。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	数学1 「一般常識 数学」オリエンテーション	19	国語・社会1 「一般常識 国語・社会」オリエンテーション	
	2	数学2 数の計算	20	国語・社会2 漢字一字の読み	
	3	数学3 式の計算	21	国語・社会3 二字熟語の読み	
	4	数学4 因数分解	22	国語・社会4 慣用語の読み	
	5	数学5 平方根	23	国語・社会5 常用漢字外の読み	
	6	数学6 1次方程式	24	国語・社会6 漢字一字の書き取り	
	7	数学7 連立方程式	25	国語・社会7 二字熟語の書き取り	
	8	数学8 2次方程式	26	国語・社会8 同訓異字の書き取り	
	9	数学9 不等式	27	国語・社会9 同音異義語の書き取り	
	10	数学10 前期成績判定テスト1	28	国語・社会10 対義語・類義語の書き取り	
	11	数学11 数と量の文章問題1	29	国語・社会11 世界史	
	12	数学12 数と量の文章問題2	30	国語・社会12 日本史	
	13	数学13 割合の文章問題1	31	国語・社会13 思想・社会・文化	
	14	数学14 割合の文章問題2	32	国語・社会14 成績判定テスト	
	15	数学15 速さの文章問題1	33	総復習	
	16	数学16 前期成績判定テスト	34	まとめ	
	17	数学17 規則性などの文章問題	35	まとめ	
	18	数学18 まとめ	36	まとめ	
成績割合	テスト	数学 80% 国語・社会 80%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	数学 20% (確認テストと出席) 国語・社会 20% (確認テストと出席)			
	レポート	なし	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89点 B70~79点	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>100% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>100% G<<海外体感型学習>>30%				
講師プロフィール	慶応義塾大学経済学部。大手金融機関で金融全般のアドバイザー業務の傍ら、海外での銀行設立業務にも参画する。他、数学、英語、国語、社会の講師を勤める。				

シラバス

科目名	大学支援 総合Ⅱ		担当者名	若林 芳勝	
学科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	72時間
授業目的	産業能率大学通信教育課程の基礎・専門科目(全8科目)の単位修得に必要な学習支援を行う。 その際、経営的視点を養い、主に経営・マネジメントに関する基礎的な部分を理解することを重視する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	産能大のレポート・科目修得試験への取り組み方の基本を学び、経営・マネジメントの基礎・専門科目を総合的に学びながら単位修得を目指す。				
授業概要	大学所定教材テキストの要点を解説し、レポート課題の作成指導を行った上、大学科目修得試験合格に必要な受験対策を実施する。 前期・後期の単位修得科目は、主に以下を予定しています。 〔前期〕4科目:「企業家に学ぶ経営」「ストリートファッション論」「地域コミュニティ活動と社会貢献」「スポーツに学ぶチームマネジメント」 〔後期〕4科目:「ビジネス倫理」「人間関係の心理学」「チームマネジメント論」「リーダーシップ論」				
授業計画表		授業内容			授業内容
	1	オリエンテーション		19	講義
	2	オリエンテーション		20	講義
	3	講義		21	講義
	4	講義		22	講義
	5	講義		23	講義
	6	講義		24	講義
	7	講義		25	講義
	8	講義		26	講義
	9	講義		27	講義
	10	講義		28	講義
	11	講義		29	講義
	12	講義		30	講義
	13	講義		31	講義
	14	講義		32	講義
	15	講義		33	講義
	16	講義		34	講義
	17	定期試験に向けて総まとめ		35	定期試験に向けて総まとめ
18	定期試験に向けて総まとめ		36	定期試験に向けて総まとめ	
成績割合	テスト	60%		学習FB方法	授業中に随時フィードバックを行います。
	学習態度・出席率	40%			
	レポート			成績評価	定期試験(小テスト・レポートを含む)、学習態度、出席率を勘案し、総合評価にて決定します。
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>> R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>> G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	経営・マネジメントの知識は社会に出てから必ず必要になります。一緒に学習しましょう。				

シラバス

科目名	大学支援 総合Ⅱ		担当者名	宮坂 友造	
学科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	72時間
授業目的	この講義は中央大学通信教育部の単位取得を目指し学習する授業となります。対象科目は、民法1(総則)、民法2(物権)、民法5(親族・相続)、刑法各論となります。これらの科目についての基礎知識、また単位取得のために必要なレポート作成の仕方を習得することを目的とします。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	第一の目標は中央大学の単位取得となります。また、その過程で法的知識の習得、法の解釈の仕方、事例問題の解決力等を身につけることも目標とします。				
授業概要	民法1、民法2、民法5、刑法各論のレポート課題につき、論点の正確な把握、論文の構成の仕方、また関連する判例の読み方を学んでいきます。				
授業計画表	授業内容		授業内容		
	1	オリエンテーション①	19	刑法各論第2課題の解説②	
	2	オリエンテーション②	20	民法1第3課題の解説①	
	3	オリエンテーション③	21	民法1第3課題の解説②	
	4	民法2第1課題の解説	22	民法1第1課題の解説①	
	5	民法2第2課題の解説	23	民法1第1課題の解説②	
	6	民法1第2課題の解説①	24	民法2第3課題の解説①	
	7	民法1第2課題の解説②	25	民法2第3課題の解説②	
	8	民法1第4課題の解説①	26	民法2第4課題の解説①	
	9	民法1第4課題の解説②	27	民法2第4課題の解説②	
	10	民法2第2課題の解説①	28	民法5第3課題の解説①	
	11	民法2第2課題の解説②	29	民法5第3課題の解説②	
	12	民法5第1課題の解説①	30	民法5第4課題の解説	
	13	民法5第1課題の解説②	31	刑法各論第3課題の解説①	
	14	民法5第2課題の解説①	32	刑法各論第3課題の解説②	
	15	民法5第2課題の解説②	33	刑法各論第4課題の解説	
	16	刑法各論第1課題の解説①	34	まとめ①	
	17	刑法各論第1課題の解説②	35	まとめ②	
18	刑法各論第2課題の解説①	36	まとめ③		
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	前期・後期 成績表送付	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	70%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89点 B70~79点	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>100% R<実働実践型学習>30% A<主体的参加型学習>30% G<海外体感型学習>5%				
講師プロフィール	中央大学通信教育部インストラクター 行政書士試験合格、専門学校・大学で15年以上の講師歴あり				

シラバス

科目名	大学支援 総合Ⅱ		担当者名	月本 直子	
学科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	72時間
授業目的	「国文学史Ⅰ」では日本文学史に特徴的な構造を理解し、歴史の流れの中における文学の位置づけを理解する。「国語学概論」では日本語学の多彩な研究領域及びその周辺領域に関する知識を身に付ける。「国文学史Ⅱ」では日本の近現代文学史の流れについて学び、主たる作家の文学史的意味付けを理解する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	日本大学通信教育部における「国文学史Ⅰ」「国語学概論」「国文学史Ⅱ」の三科目に関するレポート課題の合格及び科目修得試験の合格を見込める力を付ける。				
授業概要	いずれの科目も講義形式を中心として行う。理解の助けとして教科書内容に即したプリントを適宜使用しつつ力を付けていく。また、科目ごとに約2000字のレポート二編が課題となっているので、それらを作成するため筋道を立てて文章をまとめる技術も習得する。				
授業計画表		授業内容			授業内容
	1	講義概要説明		19	国語学概論「文章と文体」
	2	国文学史Ⅰ「日記と随筆」		20	国語学概論「敬語」
	3	国文学史Ⅰ レポート作成		21	国語学概論「日本語教育」
	4	国文学史Ⅰ 和歌		22	国語学概論「心理言語学」
	5	国文学史Ⅰ レポート作成		23	レポート作成
	6	国文学史Ⅰ 上代の文学概観		24	国文学史Ⅱ「文明開化と『文学』の変容」
	7	国文学史Ⅰ「上代の文学 神話・伝説・説話」		25	国文学史Ⅱ「明治中期の小説」
	8	国文学史Ⅰ 中古の文学概観		26	国文学史Ⅱ「自然主義文学」
	9	国文学史Ⅰ「中古の文学 物語の発生と展開」		27	国文学史Ⅱ「漱石と鷗外」
	10	国文学史Ⅰ「中古の文学 説話集と歴史物語」		28	国文学史Ⅱ「耽美派」
	11	国文学史Ⅰ 中世の文学概観		29	国文学史Ⅱ「白樺派」
	12	国文学史Ⅰ「中世の文学 和歌」		30	国文学史Ⅱ「『新思潮』と大正期教養主義」
	13	国語学概論 概要説明		31	国文学史Ⅱ「プロレタリア文学」
	14	国語学概論「音声と音韻」		32	国文学史Ⅱ「新感覚派」
	15	国語学概論「音声と音韻」		33	国文学史Ⅱ「戦後文学」
	16	レポート作成に向けて		34	まとめ
	17	国語学概論「意味」		35	まとめ
18	国語学概論「意味」		36	まとめ	
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	答案返却時に解説をする。	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S 90～100 A 80～89 B 70～79 C 60～69 D 59点以下不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>70% R<実働実践型学習>60% A<主体的参加型学習>80% G<海外体感型学習>20%				
講師プロフィール	都内の中高一貫女子校で専任教員及び講師として約40年間国語を担当した経験を持つ。				

シラバス

科目名	日本語演習Ⅱ(N1)		担当者名	楊 陽、岡崎 志織	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	72時間
授業目的	授業に必要とされる日本語の知識や理解力、会話力を深め、N1試験合格を目指す。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	12月に行われるJLPT N1の合格を目指す。				
授業概要	教科書に従って授業を展開し、文法、漢字、意味、慣用句、オノマトペ、読解、会話等、授業に必要とされる日本語の知識や理解力を深め、JLPT N1レベルの学習者としてふさわしい日本語力を身につける。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	プレースメントテスト	19	日本語の読解及び文法17	
	2	オリエンテーション 日本語の読解及び文法1	20	日本語の読解及び文法18	
	3	日本語の読解及び文法 2	21	日本語の読解及び文法19	
	4	日本語の読解及び文法 3	22	日本語の読解及び文法 20	
	5	日本語の読解及び文法 4	23	日本語の読解及び文法 21	
	6	日本語の読解及び文法 5	24	日本語の読解及び文法 22	
	7	日本語の読解及び文法 6	25	日本語の読解及び文法 23	
	8	日本語の読解及び文法 7	26	日本語の読解及び文法 24	
	9	日本語の読解及び文法 8	27	日本語の読解及び文法 25	
	10	日本語の読解及び文法 9	28	日本語の読解及び文法 26	
	11	日本語の読解及び文法 10	29	日本語の読解及び文法 27	
	12	日本語の読解及び文法 11	30	日本語の読解及び文法 28	
	13	日本語の読解及び文法 12	31	日本語の読解及び文法 29	
	14	日本語の読解及び文法 13	32	日本語の読解及び文法 30	
	15	日本語の読解及び文法 14	33	日本語の読解及び文法 31	
	16	前期末試験	34	日本語の読解及び文法 32	
	17	日本語の読解及び文法 15	35	学年末試験	
	18	日本語の読解及び文法16	36	試験返却、解説、総復習	
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	定期的なまとめテストにてフィードバック	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	10%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>100% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>0% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	大学卒業後、日本航空 国際線に7年間勤務 在米6年 在独2年 日本語教師資格所有 米カリフォルニア大学にて英語教員免許(TESL)取得 日米の教員免許を所有 長い海外経験から、外国人留学生の立場に立ったわかりやすい日本語の授業を心がけています。				

シラバス

科目名	日本語演習Ⅱ(N2)		担当者名	楊 陽、岡崎 志織	
学 科			授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	選択	授業時間数	72時間
授業目的	授業に必要とされる日本語の知識や理解力、会話を深め、N2 試験合格を目指す。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	12月に行われるJLPT N2の合格を目指す。				
授業概要	教科書に従って授業を展開し、文法、漢字、意味、慣用句、オノマトペ、読解、会話等、授業に必要とされる日本語の知識や理解力を深め、JLPT N2レベルの学習者としてふさわしい日本語力を身につける。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	プレースメントテスト	19	日本語の読解及び文法 17	
	2	オリエンテーション 日本語の読解及び文法1	20	日本語の読解及び文法18	
	3	日本語の読解及び文法 2	21	日本語の読解及び文法19	
	4	日本語の読解及び文法 3	22	日本語の読解及び文法 20	
	5	日本語の読解及び文法 4	23	日本語の読解及び文法 21	
	6	日本語の読解及び文法 5	24	日本語の読解及び文法 22	
	7	日本語の読解及び文法 6	25	日本語の読解及び文法 23	
	8	日本語の読解及び文法 7	26	日本語の読解及び文法 24	
	9	日本語の読解及び文法 8	27	日本語の読解及び文法25	
	10	日本語の読解及び文法 9	28	日本語の読解及び文法26	
	11	日本語の読解及び文法 10	29	日本語の読解及び文法27	
	12	日本語の読解及び文法 11	30	日本語の読解及び文法28	
	13	日本語の読解及び文法 12	31	日本語の読解及び文法29	
	14	日本語の読解及び文法 13	32	日本語の読解及び文法 30	
	15	日本語の読解及び文法 14	33	日本語の読解及び文法 31	
	16	前期末試験	34	日本語の読解及び文法 32	
	17	日本語の読解及び文法 15	35	学年末試験	
	18	日本語の読解及び文法 16	36	試験編みゃky、解説、総復習	
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	定期的にとまとめテストにてフィードバック	
	学習態度・出席率	30%			
	レポート	10%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>100% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>0% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	大学卒業後、日本航空 国際線に7年間勤務 在米6年 在独2年 日本語教師資格所有 米カリフォルニア大学にて英語教員免許(TESL)取得 日米の教員免許を所有 長い海外経験から、外国人留学生の立場に立ったわかりやすい日本語の授業を心がけています。				